

令和8年4月30日

新潟市議会議長 様

会 派 名 翔政会

議 員 名 皆川 英二

令和7年度 政務活動費収支報告書

新潟市議会政務活動費の交付に関する条例第9条に基づき、令和7年度政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入 (単位 円)

	金 額	備 考
政 務 活 動 費	1,440,000	@120,000×12月

2 支出 (単位 円)

	金 額	備 考
調 査 研 究 費	57,506	別紙のとおり
研 修 費	55,670	別紙のとおり
広 報 費	812,045	別紙のとおり
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	76,890	別紙のとおり
人 件 費		
事 務 所 費		
合 計	1,002,111	

3 残額 437,889 円

支出伝票一覧表

会派名	翔 政 会		皆川 英二	
支出年度	令和7年度	支出項目	調査研究費	
整理番号	支出年月日	支出内容	支出金額	備考
1	R7.10.16	歴史と文化のまちづくり推進議員連盟 佐渡市視察旅費	46,412 円	
2	R7.10.19	佐渡視察 お土産代	696 円	
3	R7.10.30	佐渡視察 視察代(佐渡金山)	1,500 円	
4	R7.11.7	佐渡視察 視察代(NIPPONIA佐渡相川)	4,798 円	
5	R8.3.31	市政調査会会費	4,100 円	
6			円	
7			円	
8			円	
9			円	
10			円	
11			円	
12			円	
13			円	
14			円	
15			円	
16			円	
17			円	
18			円	
19			円	
20			円	
計			57,506 円	

※ 支出項目ごとに支出年月日順にまとめ、表紙として提出してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	/
支 出 項 目	☒ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費		
実施年月日	令和 7 年 10 月 30 日～令和7年10月31日		
支出年月日	令和 7 年 10 月 16 日		
支 出 金 額	¥ 46,412 円		
支 出 先	名鉄観光サービス株式会社 新潟支店		
使 途 内 容	歴史と文化のまちづくり推進議員連盟 佐渡市視察旅費		
備 考			

領収書貼付欄

第四北越銀行

お取引明細票

お取引日	07-10-16	取扱店	276	号機	25	NB	N	銀行番号	00000000000000000000	口座店	00000000000000000000	口座番号	00000000000000000000	通番	111	お取引内容	お振込
万円	5千円	2千円	千円	500円	100円	50円	10円	5円	1円	お取引金額	¥45,752	お取引後元帳残高	¥660				
※案内 * お振込明細 * お振込先: [REDACTED] お振り ¥3,588 ご依頼人: ミカワエッセイ 様 TEL025-258-2029 14:20 印紙税申告納付につき新潟県税務署承認																	

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

請求書

登録番号 T4180001033060

発行日 2025年10月09日

予約番号 EB-013769

請求番号 EB-00015366

名鉄観光サービス株式会社

新潟支店

T 950-0916

新潟県新潟市中央区米山4丁目5番23号

米山Nビルディング

TEL:025-245-8331 FAX:025-245-8333

皆川 英二 様

ご請求額 ¥45,752.-

毎度お引立ていただきありがとうございます。

下記の通りご請求申し上げます。

内容 佐渡視察

責任者

担当者

[illegible]

振込先

メイテツカンコウサービス (カ)

備考

新潟市議会歴史と文化のまちづくり推進議員連盟 佐渡市視察参加者 旅費（10名） 令和7年10月30日（木）～31日（金）

名前	視察期間	所属	宿泊・ジェット代	マイクロバス代（按分）	合計
皆川 英二	令和7年10月30日（木）～31日（金）	翔政会	29510	16242	45752
小野 清一郎	令和7年10月31日（金）	翔政会	13960	5732	19692
土田 真清	令和7年10月30日（木）～31日（金）	翔政会	26210	16242	42452
小野 照子	令和7年10月30日（木）～31日（金）	翔政会	26210	16242	42452
小林 裕史	令和7年10月30日（木）～31日（金）	新風にいがた	26210	10510	36720
小山 進	令和7年10月30日（木）～31日（金）	新潟市公明党	26210	16270	42480
串田 修平	令和7年10月30日（木）～31日（金）	新市民クラブ	26210	10510	36720
高橋 聡子	令和7年10月30日（木）～31日（金）	ともに躍動する 新潟	26210	16242	42452
石附 幸子	令和7年10月30日（木）～31日（金）	市民ネットにいがた	26210	16242	42452
小泉 伸之	令和7年10月30日（木）～31日（金）	無所属の会	29510	16242	45752
合計			256450	140474	396924

令和7年10月30日(木)～31日(金) 歴史と文化のまちづくり推進協議 佐渡視察行程表

◎当日は新潟潟港ロービーに9時10分集合です。なお、遅れる場合は小山までご一報下さい。携帯

月 日	行 程				視察先
10月30日	ジェットフォイル 新潟港 9:40発 両津港 10:47着 マイクロバス 佐渡金山(視察) 15:30～16:30 ホテル 17:00着 マイクロバス ぎらけむ佐渡 12:00～12:30 屋食 13:30～15:00 マイクロバス NIPPONIA佐渡(視察)				●宿泊先 ホテル八幡館 佐渡市八幡2043番地 ☎ 0259-57-2141 夕食(八幡館内) 18時からの予定
10月31日	マイクロバス ホテル 9:20ロービー集合 9:30発 小野議長 新潟港(7:55)～ 両津港(9:02) ジェットフォイル 両津港 15:00着 15:30発 新潟港 16:37着 解散 佐渡市役所内 渡辺竜吾市長 表敬 10:00～10:30 両津港佐渡汽船(9:15) ～佐渡病院(9:41) マイクロバス 小町(重要伝統的建造物群保存地区)座学 10:30～11:30 屋食 13:00過ぎ～14:00 佐渡病院(12:33)～ 両津港佐渡汽船(12:59) マイクロバス 小町(重要伝統的建造物群保存地区)現地 串田議員・小林議員・両津港(13:45)～ 新潟港(14:52) ジェットフォイル				
参加者	議員10名(全派順) 皆川英二議員、小野清一郎 議員(31日のみ)、土田真清 議員、小野照子 議員、小林裕史 議員、 小山 進 議員、串田修平議員、高橋聡子 議員、石附幸子 議員、小泉仲之 議員、				

視 察 (出 張) 報 告 書

令和 7 年 11 月 10 日

新潟市議会 議長 様

氏 名 皆 川 英 二

下記のとおり、視察(出張)が終了したので報告します。

視 察 議 員	皆川英二、小野清一郎(31日のみ参加)、土田真清、小野照子、 小林裕史(31日午前まで参加)、小山 進、串田修平(31日午前まで参 加)、高橋聡子、石附幸子、小泉伸之
期 間	令和 7 年 10 月 30 日(木)～令和 7 年 10 月 31 日(金)
視 察 先	佐渡市
視 察 用 務	・「NIPPONIA 佐渡相川」の取り組みについて ・「佐渡金山」及び「きらりうむ佐渡」視察 ・佐渡市・渡辺竜吾 市長表敬 今後の佐渡市と新潟市の交流について ・小木町「伝統的建造物群保存地区」の取り組みについて
視察先面会者	別紙参照
概要及び所見	別紙参照

皆川 英二

【視察日程】 令和7年10月30日(木) 12:00~12:30

【視察地】 きらりうむ佐渡

【視察目的】 佐渡金銀山ガイド施設の見学及び研修

【面会者】 佐渡市役所 観光文化スポーツ部 正治 敏 副部長、世界遺産課 宇佐美 亮 課長補佐

1. 視察概要

令和6年の「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録後、来訪者が増加するなかで、きらりうむ佐渡が果たす役割と運営状況を確認するため視察を行った。展示内容の更新状況、案内体制、地域連携の取り組みに加え、無料で利用できる施設としての公共性や利便性についても説明を受け、文化観光拠点としての重要性を把握する機会となった。

2. 視察内容

(1) 展示内容と学習機能

きらりうむ佐渡は入館料および展示室観覧料が無料であり、誰でも気軽に立ち寄れる施設として整備されている。展示は佐渡金銀山の歴史や特徴を体系的に理解できる構成となっており、世界遺産登録後は解説内容の一部が更新され、来館者の関心に応じた情報発信が行われていた。



映像資料や写真展示には多くの地域住民が登場し、島民自身が採掘や生活文化について語っているため、歴史や文化の臨場感が伝わる内容となっていた。地域の協力により制作されたコンテンツは、歴史学習としての価値に加えて、佐渡の文化継承に寄与する役割も果たしていると感じられた。

教育旅行においても事前学習の拠点として活用が進んでおり、学習機能を兼ね備えたガイド施設として重要な位置づけにある。

(2) 案内体制と受入環境

世界遺産登録後の来館者増に対応するため、多言語パネルや映像ガイドが整備され、外国人観光客への対応が強化されていた。館内の動線や安全設備は定期的に見直され、誰もが安心して利用できる環境づくりが進んでいた。

また、施設前に無料駐車場が整備され、自家用車や貸切バスで訪れる観光客をスムーズに受け入れられる体制となっていた。特に教育旅行や団体観光の増加に対応するうえで、無料駐車場の存在は大きな利点であるとの説明があった。

(3) 観光入込と運営状況

世界遺産登録後、きらりうむ佐渡は佐渡金銀山を理解する入口としての役割が一段と高まり、来館者数が増加しているとの説明があった。入館無料であることから、短時間の立ち寄りから本格的な学習ま

で幅広い利用が見られ、観光動線の中に自然に組み込まれている様子がうかがえた。

繁忙期には館内の混雑緩和やスタッフ配置が課題となることもあり、案内体制の強化、予約制の活用、展示更新の継続など、満足度向上と受入能力向上の両面で取り組みが進められていた。

（４）世界文化遺産登録による影響

世界遺産登録に伴う展示面の更新として、映像・パネル類には登録経緯や価値を示す要素が盛り込まれていた。特定の価値基準（OUV）を直接解説する専用コーナーが設けられているわけではないものの、展示全体の構成の中で佐渡金山が世界遺産として持つ意義を理解できる内容となっていた。写真や紹介動画には地元住民も出演しており、地域社会が一体となって遺産の価値を伝えようとする姿勢が印象的であった。

注目度の上昇により観光客が増加しただけでなく、地域住民の誇りや文化継承意識が高まるなど、登録による心理的・社会的な波及効果も指摘されていた。

（５）地域との連携

展示制作や映像出演などに地域住民が協力しており、きらりうむ佐渡は地域一体の文化発信の拠点として位置づけられていた。住民が自らの言葉で歴史や文化を紹介することで、観光コンテンツに地域性や信頼性が付加され、来館者に佐渡の魅力を実感させる内容となっていた。



さらに、周辺観光施設、宿泊事業者、飲食店と連携した回遊性向上の取り組みや、学校教育における地域学習の場としての活用も進んでいた。無料で利用できる公共施設であることから、観光と地域教育の双方に寄与する幅広い役割を担っていることが確認できた。

【視察日程】 令和7年10月30日（木）13:30~15:00

【視察地】 NIPPONIA 佐渡相川

【視察目的】 NIPPONIA 佐渡相川の古民家改修の取組について

【面会者】 榊相川車座 代表取締役社長 雨宮 隆三 氏ほか

1. 取り組みの経緯と概要

相川地区は江戸時代以降、金銀採掘で栄え、多い時期には10万人が暮らした歴史文化の集積地である。近年、世界遺産登録の機運が高まる中、地域主導のまちづくりを加速させる必要性が生じた。2020年、佐渡市・佐渡観光交流機構（DMO）・新潟日報社・株式会社NOTEの4者が「歴史的資源を活用した地域活性化に関する連携協定」を締結し、地域住民主体の組織「相川車座」が設立された。相川車座は空き家となっていた古民家を改修し、令和6年7月に分散型ホテル「NIPPONIA 佐渡相川 金山町」（4棟7室）が開業した。改修に古民家再生を広く手掛ける株式会社NOTEと、地元工務店（イワイ工務店・共立テクノ）が協働で取り組んだ。京町通りの歴史的景観と調和し、古民家の風合いを生かした「暮らしを体験できる宿」として整備されている。

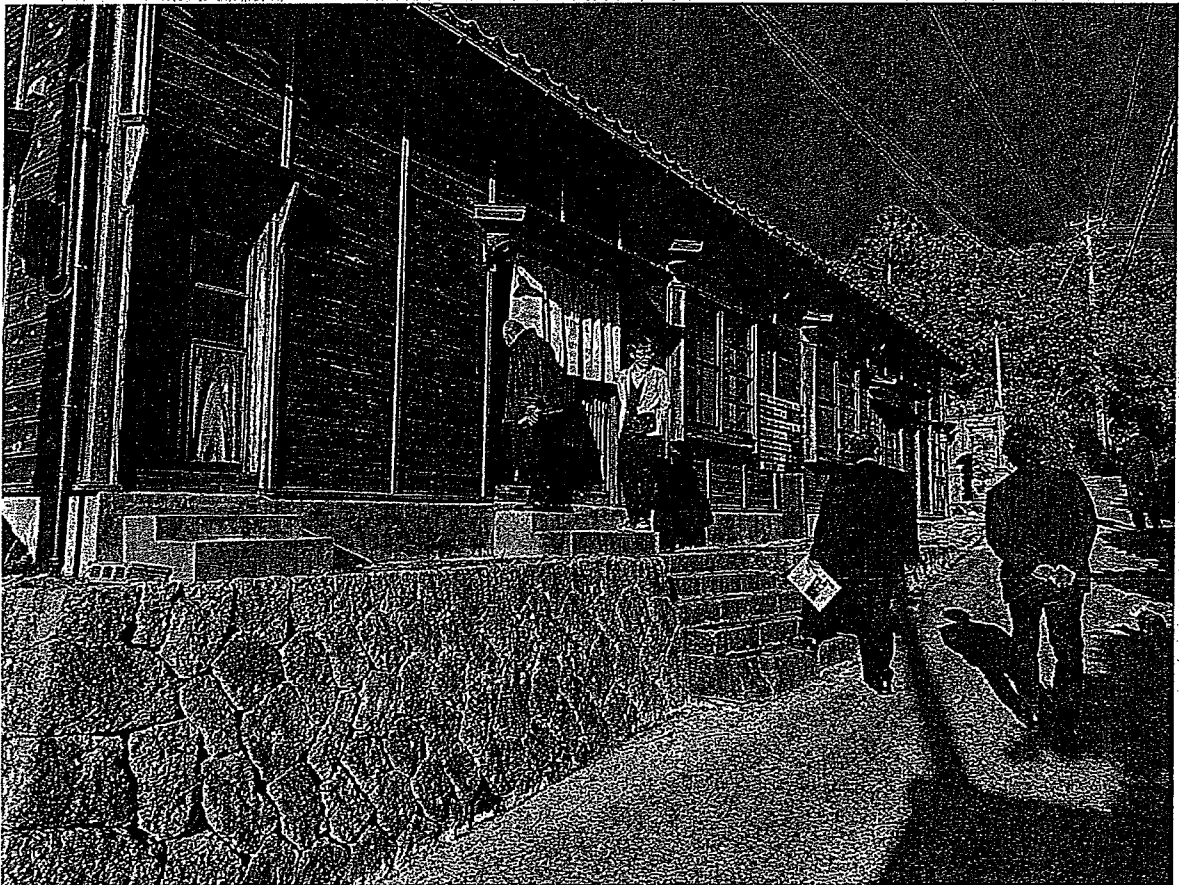
2. これまでの主な成果や評価

- 地域住民主体の事業運営が実現し、シビックプライドが向上
- 看板・ベンチの整備等により、歴史的まちなみの価値と回遊性の向上
- 開業前から島内外の注目が高く、世界遺産登録の機運と連動し、相川地区のブランド力向上につながっている。
- 空き家所有者から「自宅もホテルとして活用してほしい」という申し出が増えるなど、地域内の賃貸・利活用の相談も拡大
- 佐渡全体で多様な宿泊形態が増加し、手頃なゲストハウスと高級古民家ホテルが共存し、多層的な観光ニーズに対応できる構造が形成されつつある。

3. 視察内容

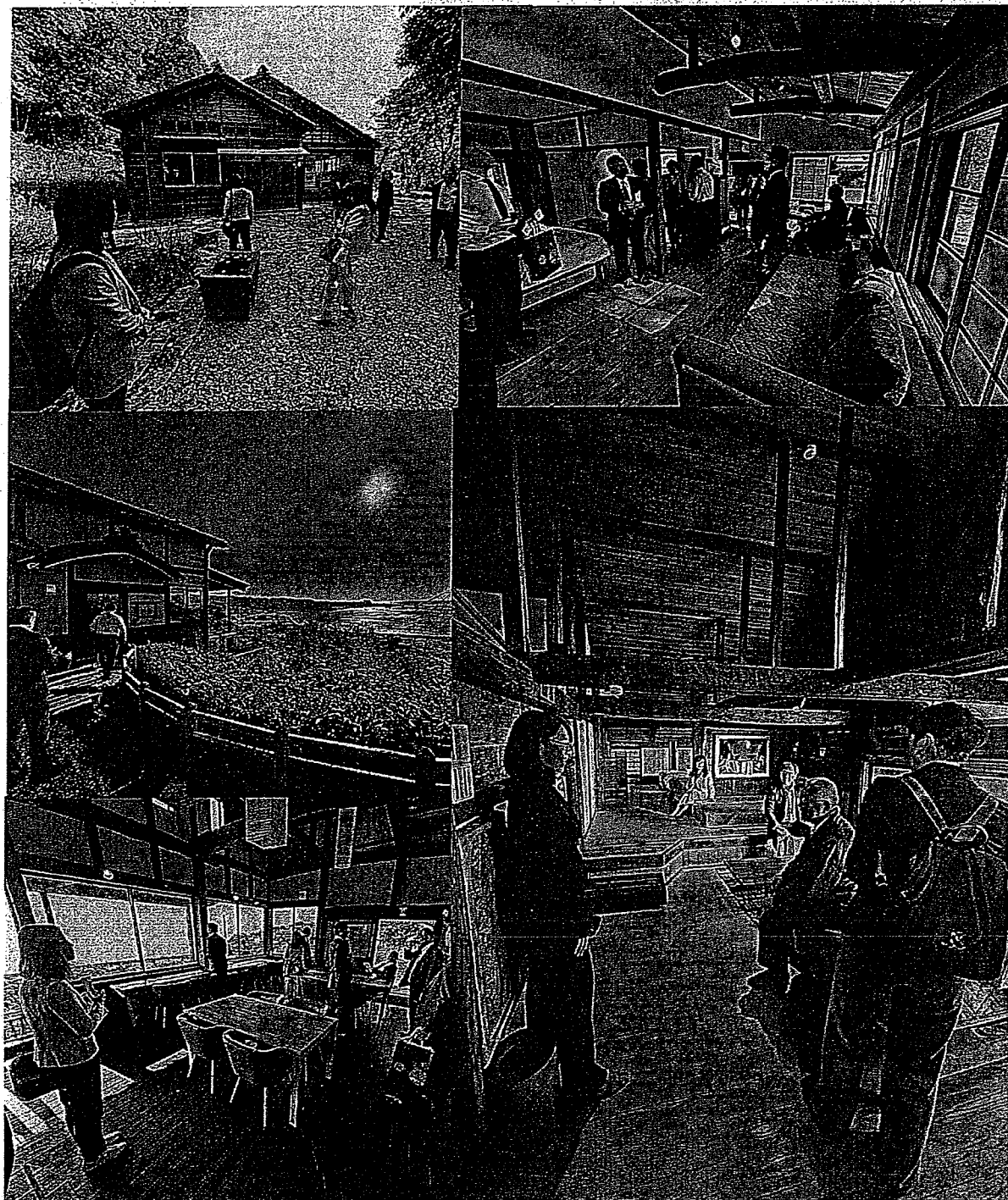
(1) 京町通りのまちなみ保全

- 佐渡奉行所と金山をつなぐ主要街路で、当時の中心地
- 建物外観が修復され、文化的景観としての保全が進む。
- ベンチ・案内サインのデザイン性が高く、景観と調和
- 若い世代の店や暮らしの雰囲気を感じられ、「生きた歴史空間」となっていた。



(2) 相川まちごとホテル (各棟)

- 清水家：フロント機能を持ち、無名異焼窯元の歴史を体験できる設え
- 鐘楼庵：時鐘楼を望む歴史的景観が特徴
- 山師新五郎・左門町：元・鉾山住宅を改修した一棟貸し
- いずれも古民家の風合いを残しつつ、快適性とデザイン性を両立



(3) 課題

- 地域連携の深化：相川車座は地域住民を中心とした組織であるが、まだ相川地域全体を巻き込むには時間が必要
- 事業の持続性の確保：歴史的建造物の維持管理にはコストがかかり、継続的な運営には長期的な資金確保と人材育成が不可欠
- 観光の季節変動：冬季の集客や滞在型観光の確立が引き続き課題

(4) 今後の取り組み

- 現在の4棟に加え、今後も段階的に宿泊棟を増やし、「相川まちごとミュージアム構想」を発展させる。
- 相川地区内の連携深化を図りつつ、将来的には佐和田・小木・両津など島内他エリアへ展開していく構想
- 宿泊と体験を組み合わせた滞在型観光プログラムの開発を進め、3時間観光から「3日間滞在する佐渡」への転換をめざす。
- 世界遺産登録の動きと連動し、歴史文化・自然資源の統合的な活用の推進



【視察日程】 令和7年10月30日(木) 15:30~16:30

【視察地】 佐渡金山(佐渡金山コース)

【視察目的】 史跡佐渡金山の見学及び研修

【面会者】 佐渡市役所 観光文化スポーツ部 正治 敏 副部長、世界遺産課 宇佐美 亮 課長補佐

1. 視察概要

史跡佐渡金山のうち一般公開されている「佐渡金山コース」を視察し、坑道を中心とした史跡の保存状況、展示・案内体制、観光運営、入込客の動向、さらに世界文化遺産推薦に伴い地域や観光にどのような実質的な影響が生じているかを現地の説明を受けながら確認した。史跡を活かした持続可能な観光振興と文化財保全の両立について、実践例として学ぶ機会となった。

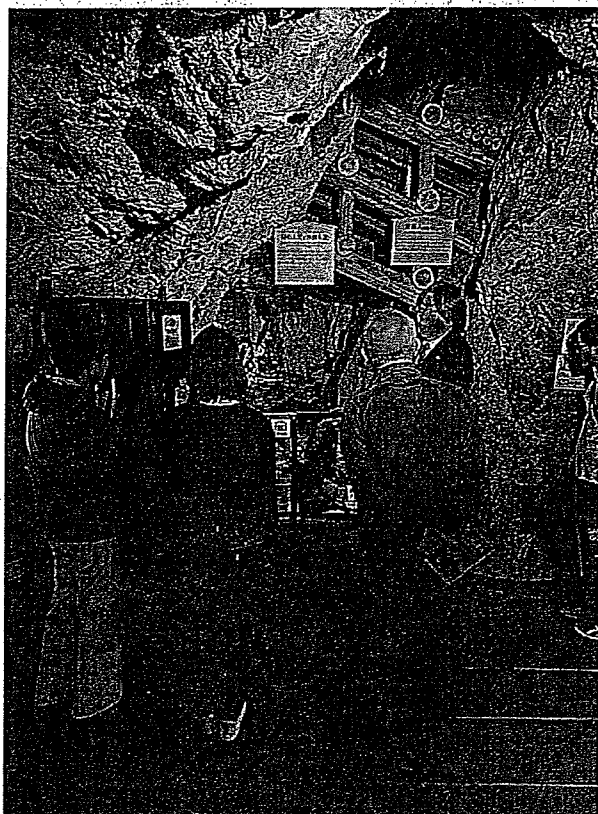
2. 視察内容

(1) 坑道および史跡の保存状況

視察では、江戸期の手掘り坑道である宗太夫坑を実際に歩き、文化財としての本質的価値がどのように維持されているかを確認した。坑道内では、木製の支保工や石組の状態を継続的に点検し、腐食や変形が見られる箇所については必要最小限の交換にとどめ、当時の構造をできる限り損なわない方針で管理が行われているという。温湿度の調整についても観光動線を確保しながら設備を極力露出させない工夫が施され、史跡本来の雰囲気や真正性を損なわない保存管理が徹底されていた。また、坑道壁面に残るノミ跡や掘削痕など、江戸期の採掘技術を示す歴史資料としての価値も丁寧に評価されており、文化財保護と観光利用が両立する形で運営されていることが確認できた。

(2) 展示および案内体制

展示は、当時の採掘工程を理解できるよう作業風景を人形で再現するとともに、採掘に用いられた工具や輸送器具が適切に配置されており、来訪者が歴史的背景を段階的に学べるよう構成されていた。坑道内の説明パネルでは採鉱技術の発展、金銀生産の変遷、佐渡の政治・経済史との関わりが整理され、単なる観光コンテンツではなく、産業史・鉱山史の学習施設としての役割も果たしている点が印象的であった。安全対策については、照明の改良、通路の段差解消、手すりの設置が進み、高齢者や児童・生徒など多様な来訪者にとって安心して見学できる環境が整備されていた。



(3) 観光入込と運営状況

佐渡金山コースは佐渡観光の核となる施設であり、教育旅行、一般観光、インバウンドまで幅広い層が訪れているとの説明があった。近年は観光需要の回復とともに入込客数が増加し、特に繁忙期にはガイドの増員や動線整理など、現場の運営改善が必要となる場面が生じているという。施設側では、展示内容の更新、外国語案内の充実、予約制の拡充など、満足度向上に向けた施策が継続的に検討されていた。観光の質を維持しつつ受入能力を拡大するための体制づくりが求められていることが明らかとなった。

(4) 世界文化遺産推薦・審査過程による影響

佐渡金山は世界文化遺産への登録こそ実現していないものの、その推薦作業と審査過程はすでに地域に大きな効果をもたらしているとの説明であった。特に、注目度の高まりにより情報発信が活性化し、教育旅行や団体客の増加につながった時期があったという。また、世界遺産審査に向けて必要な調査や文献整理が進んだことで、文化財としての学術的蓄積が従来より深まり、保存管理の質が向上したことも重要な成果と捉えられていた。



さらに、佐渡全体のブランドイメージが向上し、県や市のプロモーション戦略にも弾みがつき、広域観光の連携が進むなど、地域経済への波及効果が見られると説明された。一方で、登録後のさらなる入込客増加を想定した場合、駐車場の整備、トイレや案内表示の増強、ガイドの人材確保、文化財保護との調和など、受入環境の強化が避けて通れない課題として示されていた。

(5) 地域との連携

佐渡金山の保存と活用には、佐渡市や観光事業者、地元団体が連携し、運営や広報活動を共同で推進している点が特徴的であった。学校教育においても、地元の歴史を学ぶ教材として活用が進み、地域の歴史文化を次世代につなぐ役割を果たしている。周辺の飲食店や宿泊施設、博物館等との連携により、地域全体で回遊性を高める取り組みが進められており、佐渡金山を核とした文化観光の広がりが形成されていることを確認できた。

【視察日程】 令和7年10月31日(金) 10:00~10:30

【視察地】 佐渡市役所

【視察目的】 「佐渡島の金山」世界遺産登録を踏まえた、佐渡市と新潟市との連携

【面会者】 佐渡市長 渡辺竜吾 氏

1. 概略

視察では、新潟・佐渡両地域における観光・文化施設を中心に、金山や歴史的建造物、寺社、伝統工芸、食文化など多様な地域資源を確認した。意見交換を通じて、観光客の動向や課題、新潟市・佐渡市を中心とする広域的な文化・観光振興の方向性、今後の展望について聴取した。また意見交換では文化を核とした観光戦略、地域連携、インバウンド対応、SNS・アニメ文化の活用など多方面に及び、次年度の施策形成に資する具体的示唆を含む内容も論議された。

2. 渡辺竜五佐渡市長の主な所見・発言要旨

(1) 地域資源と文化の象徴性

寺社や五重塔などの歴史的建造物は、古くから「富の象徴」として地域の豊かさを示してきた。特に神社仏閣が多く残っている点は、農村の豊かさを物語っている。江戸期の米本位制のもとで繁栄した。新潟は、魚・肉・川魚など自然資源にも恵まれ、人々が豊かに暮らした地域としての基盤が、今も文化的魅力を形成している。

(2) 佐渡金山と観光動向

佐渡金山は令和6年7月の認定以降、観光客が9月から約2割増加し、本年10月時点でも前年同期比17～18%増を記録している。この勢いを維持し、今後は年間60万人規模の来訪者を安定的に確保する計画を進めている。ただし「新潟に人が来なければ佐渡にも来ない」との指摘もあり、広域連携による集客力強化が課題である。

(3) 新潟のブランド戦略

これまでの「地名別観光」から脱し、「新潟」という広域ブランドとして発信していく必要がある。北海道や沖縄のように、地域全体での統一的な情報発信・誘客を進めることで、検索やSNS上でも「新潟」ブランドの認知度を高めることが重要である。

(4) 文化・産業資源の活用

燕・三条の金物・洋食器や小千谷の錦鯉など、新潟の工芸・産業文化は地域の誇りであり、展示施設（きらりうむ等）での発信をさらに強化したい。来訪者が「新潟に行こう」と思えるような文化的魅力づくりを進めることが望ましい。

(5) 広域連携と将来展望

上越・新潟・佐渡の三地域が連携し、観光・文化・経済の面で一体的な広域戦略を構築することが求められる。「北海道や沖縄に負けない新潟」を目指し、地域全体で自信を持って発信する姿勢が重要である。

3. 主な意見交換内容

(1) 佐渡観光と地域文化の再評価（皆川会長・渡辺市長）

「新潟の魅力は食もあるが、やはり文化が核になる」と強調。鬼太鼓・能など伝統芸能を活かした体験型観光を推進。世界遺産登録前後からタクシー業界・ガイド体制にも変化が生まれ、民間との連携を進めている。また観光の顔としてタクシードライバーのレベルアップも必要である。

(2) 豪農文化との比較と佐渡の独自性（渡辺市長）

「佐渡には豪農のような大きな庄屋は少ない。奉行による天領支配のもとで発展した」と説明。外国人観光客にも魅力的な独自性を指摘された。

(3) 観光交通・価格設定と持続可能性（石附副会長・渡辺市長）

「最低でも1万5千円程度の宿泊単価を取らないと採算が合わない」と述べ、適正価格化による経営の安定を訴えた。結果、新潟県内は2～3割減ったが、東京は増えている。

(4) インバウンドとSNS戦略（小野照子議員・渡辺市長）

「インスタなどSNSの影響は絶大。ヒットすれば一気に広がる」と発言。外国人クリエイターとの連携型プロモーションを提案。



(5) アニメ・文化コンテンツの活用（関川部長・渡辺市長）

関川部長：「『推しの子』の作者は佐渡市出身。連携を検討中。」渡辺市長：「彼はもう絵を描かないという話で、彼の作品は非常に貴重。」

(6) 広域連携とシンポジウム構想（小山議員・渡辺市長）

小山議員：「来年、新潟市と佐渡市が連携してシンポジウムを開催したい。」渡辺市長：「入れてください。」

(7) 都市文化とまちづくり（小泉議員・渡辺市長）

小泉議員：「金沢は新幹線開業前から構想を立て、県と市が一体で文化再建を進めてきた。」渡辺市長：「新潟ももっと素晴らしい街にしていきたい。」

(8) 広域観光イベント構想（皆川会長・渡辺市長）

「新潟市をメインに、佐渡・岩室・上越などをエクスカージョン型で結び、新潟市に人を集める大規模イベントを計画中。」

4. まとめ

今後の連携課題

- (1) 文化を核とした観光戦略の深化
- (2) 広域連携と持続可能な運営体制
- (3) インバウンド・デジタル発信強化
- (4) 文化拠点整備と都市ブランド形成
- (5) クリエイター連携と次世代育成

新潟と佐渡が連携し、「文化で人を呼び、地域を磨く」という理念のもと、広域観光・文化振興・産業基盤の一体化を図ることが、次年度に向けた重要な政策課題である。

【視察日程】 令和7年10月31日（金）10:30～14:00

【視察地】 佐渡市役所及び小木町「伝統的建造物群保存地区」

【視察目的】 小木町「伝統的建造物群保存地区」の認定について

【面会者】 佐渡市役所 観光文化スポーツ部 世界遺産課文化財係 坂下 肇係長

1. 認定に至るまでの経緯と概要

小木町は、面積約855km²・海岸線約280kmの日本海側最大の離島・佐渡島西南部に位置する港町で、江戸時代から近代にかけて佐渡金銀山の金銀積出港として整備され、北前船の寄港地として繁栄してきた。円弧状の入り江に沿った町並みと、通り側に2階全面を張り出した町家に代表される、港町特有の歴史的景観が形成されている。

平成19年、新潟大学による悉皆調査が実施され、地区内の全建造物について位置・形状・構造・現況が詳細に記録。報告会なども開き、その成果をもとに平成20年には「まちなみ散策マップ」が作成され、地域の歴史的資源への認識が高まった。

同年「風待ちの会」が発足し、住民主体のまちづくりが始まり、ワークショップや勉強会、町並み保

存検討委員会（平成 29 年）、町並み保存推進委員会（平成 30 年）などの仕組みが整備された。文化庁担当官との意見交換、住民アンケート、令和 3～4 年度の本格的保存調査を経て、令和 6 年 8 月 15 日に約 13.3ha が「佐渡市小木町伝統的建造物群保存地区」として重要伝統的建造物群保存地区に選定された。選定基準は、「伝統的建造物群及び地割がよく旧態を保持しているもの」宿根木地区に続き新潟県内 2 例目である。

小木町の価値として、開港当初からの地形・地割の変遷が復元可能であり、享和 2 年小木地震など地震・隆起運動を経た地形や町割が現代まで継承されている点が挙げられる。

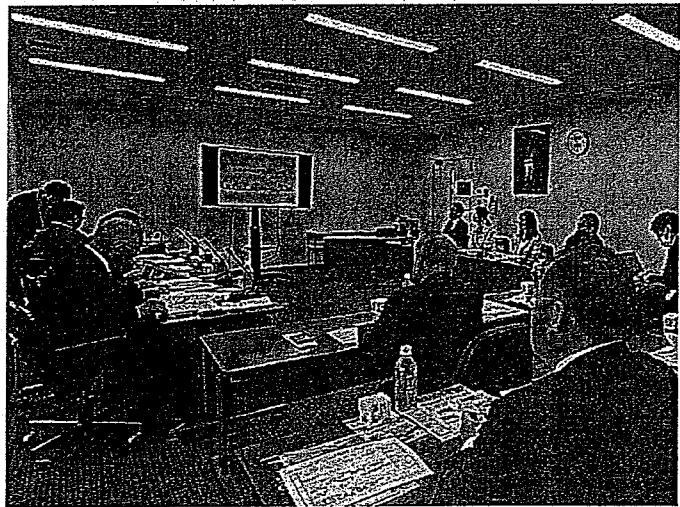
社寺は佐渡島内の意匠的特徴を良好に示し、伝統的民家は狭い間口・奥行き深い短冊形・台形敷地と、主屋→角屋・中庭→離れ・納屋→土蔵という敷地構成、切妻造平入 2 階建て、2 階正面の座敷「オモテニカイ」、オイエ吹き抜け、通り側への 2 階張り出しなど、間取り・表構・架構に顕著な独自性を有する。

これらは寄港地としての生業や賑わいを今に伝え、海運業で繁栄した港町の特色ある歴史的風致を良く残している。こういったことが価値として認められ、この価値付けが選定されるにあたり一番大切となる。

2. 現状の課題

地区内の多くの住民は町並み保存の必要性を理解しているが、一部建造物では老朽化が進み、所有者の世代交代も相まって維持管理が課題となっている。補助金や税制優遇の仕組みはあるものの、外観変更に伴う許認可手続きや制度内容が十分浸透しているとはいえず、制度の分かりやすい周知と相談体制の充実が求められる。

大火や地震など災害による町割・建物の変遷を抱えつつ、現代の生活様式との調和、高齢化、空き家対策など多面的な課題を同時に解決する必要があり、住民生活と密接に関わることから、地域主体の保存・活用体制の構築が鍵となる。

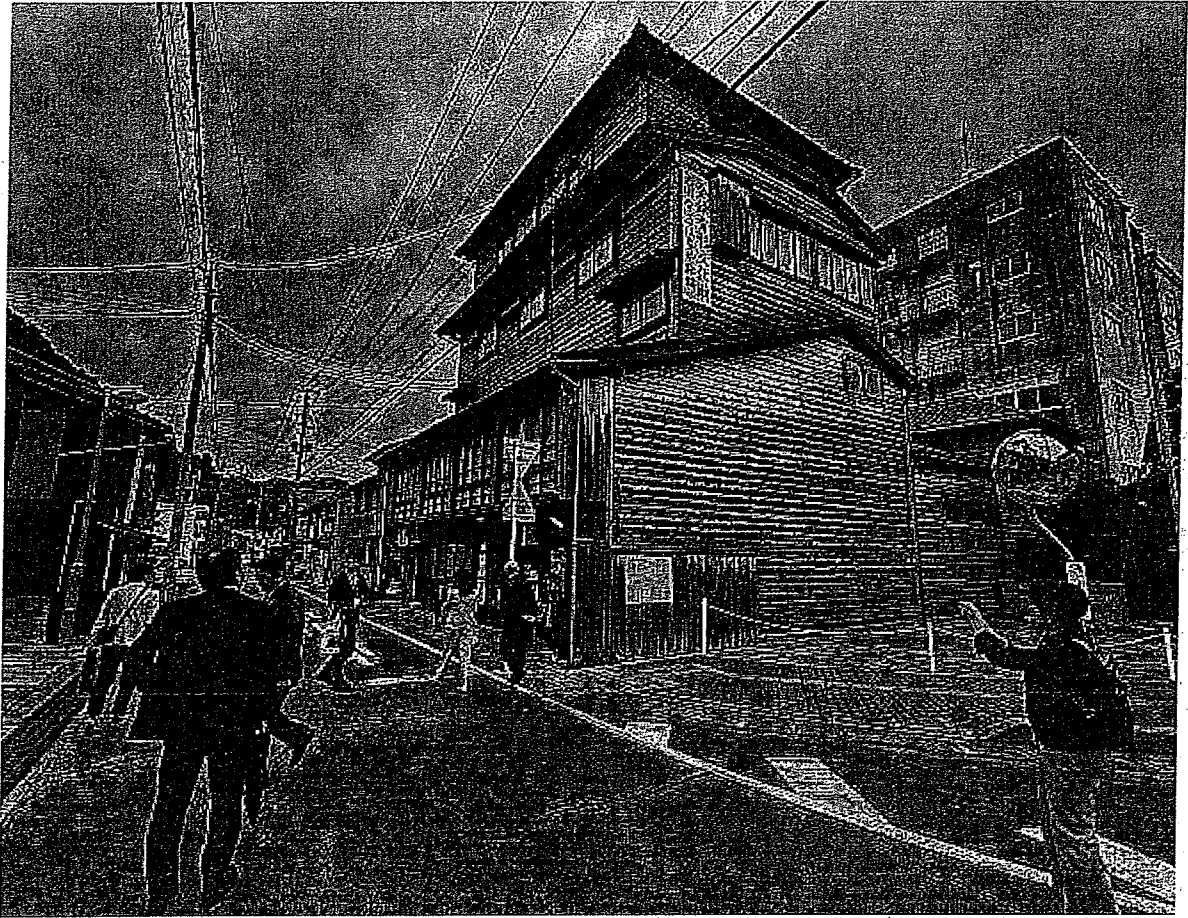


3. 選定後の取り組み

伝統的建造物にプレートを配布し、所有者に持ってもらうことで自分の所有する建物が伝統的建造物であるため原則取り壊せない。今後それを次の世代へ伝えてもらう。

この制度が始まったばかりのため地域の方たちに制度について知ってもらうため、「修理・修景の手引き」のガイドラインを住民に配布している。

アースセレブレーションなどのイベントの時期に宿根木と連携をとり、まち歩きイベントの開催や、町並み保存と活用をテーマにした講演会など、住民・来訪者双方への歴史的価値の普及啓発につとめている。



4. 今後の取組

歴史的建築物の保全活用を促進する取り組みへの展開

- 歴史的建築物の規制緩和
(建築基準法の緩和条例の制定、消防法の規制緩和)
- 歴史的建築物の解体時の届出制度の創設(条例制定)と継承者のマッチング支援
- 歴史的建築物の流通の促進
(宅建協会・建築士会との連携など)
- 歴史的建築物の保全活用に関する普及・啓発
(保全・活用事例の情報発信など)

将来的には、これらの取組を位置付ける実施計画として、「基本条例＋行政計画」あるいは「歴史的風致維持向上計画」などを策定し、総合的に歴史的建築物の保全活用を推進していく方針である。

< 所 見 >

翔政会 皆川 英二

今回の視察は、令和6年7月に「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録に伴い、今後、佐渡・新潟両市の連携をより強化し、人的交流の更なる増加を図るために、お互いが何をすべきかを共有するために、佐渡島の現状に直に接して、今後の参考にするための視察と考えております。

今回は、古民家の再生利用を重点的に視察を行っただけですので、佐渡島の他の魅力、例えば神社、仏閣、文化、自然等を観察出来なかった事が心残りですね。

つまり「佐渡島の金山」は別格として、他の観光名所との繋がりを今後どのように考えて行くのかを再度調査する必要と感じられました。

昔から佐渡島は、一度訪れれば二度までは訪れなくとも良いと言われて来ましたが、リピーター獲得のためには、佐渡島ならではの魅力ある島造りをしていかないと、世界文化遺産としての付加価値を生かしきれないのではと危惧するところです。

いかに発信力を高めるか、お互いに考えていかなければと痛感させられた視察でした。

「きらりうむ佐渡」と「Nipponia 佐渡」を運営している「佐渡観光交流機構」での視察では、職員の皆さんの熱心さは十二分に理解する事が出来ましたし、「佐渡島の金山」は、世界文化遺産に登録される以前から、全国に知れ渡っているところですが、指定を受けたことにより、その魅力が一段と磨かれたように感じられましたが、外国への浸透はまだまだ不足しているように思われました。

今後の問題点としては、

ホテル等の宿泊施設が少ないという事で、古い町並みの中や小高い所に残っている古民家をリフォームし、民宿としてホテルの代わりに利用してもらうための努力がなされている事は、十分感じることが出来ましたが、利用料金が高額ではないかと感じられました。

一方、相川町の商店街は人通りも少なく、最も心配な事は食事処が少ないところが気掛かりなところですかね。

更に、島内の交通手段の利便性の向上や台風等、島止めの危惧が生じかねない気候変動に対する対策が喫緊の課題と思われれます。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	2
支 出 項 目	☒ 調査研究費 ☐ 広聴費 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費		
実施年月日	令和 7 年 10月 19 日		
支出年月日	令和 7 年 10月 19 日		
支 出 金 額	696 円		
支 出 先	(株)新堀三越伊勢丹		
使 途 内 容	左渡視察 正産代		
備 考	按分の詳細は別紙		
領収書貼付欄			

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

SETAN

新潟三越伊勢丹 新潟伊勢丹
025-242-1111(代表)

三越伊勢丹アプリ、最適な情報を
お届けし、ポイントが貯まりアプ
リ限定配信クーポンなど！
アプリのダウンロードはこちら▶



あなたの毎日を彩る三越伊勢丹アプリ
ポイントがたまる！使える！アプリ限定クーポンも！
お買物に「お得」をプラス

2025/10/19(日) 11:37 17 0030 85374 9999
伝票番号003085374

1047 4900245939706※K20ナカ1キ 3.	6,000
8%対象	6,480 (内 消費税 480)
	消費税等合計 480
	税込小計 6,480

※は軽減税率対象

3点

<領収書発行済>

合計 6,480

有効期限(EXP DATE) XX/XX
口座番号 XXXXXXXXXX
AID A0000000651010
JCB Credit
02 JCB 1回払い
ご利用日(DATE TIME) 25/10/19 11:37:40
端末番号(TERMINAL NO) 61100-1700-0030
端末処理通番(SLP NO) 85371
取引内容(TRAN TYPE) 売上
金額(AMOUNT) ¥6,480
00957846

(02)他社クレジット 6,480

お買上げ控え

ご署名は省略させていただきます

売場名 瑞花

内線

登録番号:T2110001003674

<< ポイントご案内 >>

ポイント番号 XXXX-XXXX
前回までポイント
今回発生ポイント
ポイント残高
内2026年01月31日まで有効

★



貼付用紙

SETAN

新潟三越伊勢丹 新潟伊勢丹
025-242-1111(代表)

三越伊勢丹アプリ、最適な情報を
お届けし、ポイントが貯まりアプ
リ限定配信クーポンなど！
アプリのダウンロードはこちら▶



2025/10/19(日) 11:37 17 0030 85374 9999

領収書

歴史と文化のまちづくり
推進議員連盟 様

金額 ¥6,480

取引合計金額 ¥6,480
8%対象 6,480 (内 消費税 480)
消費税等合計 480

軽減税率対象(食品含む)

但し

☐食料品 (軽減税率) ☐食料品 (標準税率)
☐衣料品 ☐雑貨 ☐家庭用品 ☐飲食
☐その他 ()

上記金額正に領収致しました
株式会社 新潟三越伊勢丹 新潟伊勢丹

クレジット JCB

XXXXXXXXXXXX

売場名 瑞花

内線

扱者

登録番号:T2110001003674

新潟市議会歴史と文化のまちづくり推進議員連盟 佐渡市視察参加者 お土産代 (10名) 令和7年10月30日(木)～31日(金)

名前	視察期間	所属	佐渡観光交流機構 (NIPPONIA佐渡組川・きらりうむ佐渡)	09ゴールドン佐渡 2,160円 (佐渡金山)	佐渡中役所 2,160円 小木町(重要伝統的建造物群保存地区)	お土産代(振分) 合計
皆川 英二	令和7年10月30日(木)～31日(金)	翔政会	240	240	216	696
小野 清一郎	令和7年10月31日(金)	翔政会	X	X	216	216
土田 真清	令和7年10月30日(木)～31日(金)	翔政会	240	240	216	696
小野 照子	令和7年10月30日(木)～31日(金)	翔政会	240	240	216	696
小林 裕史	令和7年10月30日(木)～31日(金)	新風にいがた	240	240	216	696
小山 進	令和7年10月30日(木)～31日(金)	新潟市公明党	240	240	216	696
串田 修平	令和7年10月30日(木)～31日(金)	新市民クラブ	240	240	216	696
高橋 聡子	令和7年10月30日(木)～31日(金)	ともに運動する 新潟	240	240	216	696
石附 孝子	令和7年10月30日(木)～31日(金)	市民ネットにいがた	240	240	216	696
小泉 伸之	令和7年10月30日(木)～31日(金)	無所属の会	240	240	216	696
合計			2160	2160	2160	6480

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	3
支 出 項 目	☒ 調査研究費 ☐ 広聴費 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費		
実施年月日	令和 7 年 10 月 30 日		
支出年月日	令和 7 年 10 月 30 日		
支 出 金 額	1,500 円		
支 出 先	(株) ゴールデン匠渡		
使 途 内 容	匠渡視察・視察代(匠渡金山)		
備 考	按分等、詳細は別紙		
領収書貼付欄			

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領 収 書 貼 付 用 紙

領 収 書

新潟市議会
歴史・文化のまちづくり推進議員様

日付 2025年10月30日

金額 7500円

上記の金額を領収致しました。

株式会社ゴールデン佐渡
新潟県佐渡市下相川1305

登録番号 T6110001027587

領 収 書

新潟市議会
歴史・文化のまちづくり推進議員様

日付 2025年10月30日

金額 4500円

上記の金額を領収致しました。

株式会社ゴールデン佐渡
新潟県佐渡市下相川1305

登録番号 T6110001027587

※重ならないように貼付してください。

新潟市議会歴史と文化のまちづくり推進議員連盟・佐渡市視察参加者 視察費等 (10名) 令和7年10月30日(木)～31日(金)

名前	視察期間	所属	NIPPONIA佐渡相川 視察費 (按分) 42,902円 + 振込手数料275円=43,177	佐渡金山 視察 (按分)	合計
皆川 英二	令和7年10月30日(木)～31日(金)	翔政会	4798	1500	6298
小野 清一郎	令和7年10月31日(金)	翔政会	×	×	0
土田 真清	令和7年10月30日(木)～31日(金)	翔政会	4797	×	4797
小野 照子	令和7年10月30日(木)～31日(金)	翔政会	4797	1500	6297
小林 裕史	令和7年10月30日(木)～31日(金)	新風にいがた	4797	1500	6297
小山 進	令和7年10月30日(木)～31日(金)	新潟市公明党	4798	1500	6298
串田 修平	令和7年10月30日(木)～31日(金)	新市民クラブ	4798	1500	6298
高橋 聡子	令和7年10月30日(木)～31日(金)	ともに躍動する 新潟	4797	1500	6297
石附 幸子	令和7年10月30日(木)～31日(金)	市民ネットにいがた	4797	1500	6297
小泉 伸之	令和7年10月30日(木)～31日(金)	無所属の会	4798	1500	6298
合計			43177	12000	55177

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和 7 年度	整理番号 (項目別)	4
支 出 項 目	☒ 調査研究費 ☐ 広聴費 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費		
実施年月日	令和 7 年 10 月 30 日		
支出年月日	令和 7 年 11 月 7 日		
支 出 金 額	4,798 円		
支 出 先	佐渡観光交流機構		
使 途 内 容	佐渡視察 視察代(NIPPONIA佐渡相川)		
備 考	按分等 説明は別紙		
領収書貼付欄			

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領収書貼付用紙

第四北越銀行

お取引明細票

お取引日	07-11-07	取扱店	281	号機	26	NB	銀行番号	口座店	口座番号	通番	140	お取引内容	振込
万円	5千円	2千円	千円	500円	100円	50円	10円	5円	1円	お取引金額	円	お取引後元帳残高	円
										¥42,902	¥275		
ご案内 * お振込明細 * 080140													
お振込先													
シヤ・リト・カンコウリユウキコウ ホンマ マサヒロ 様													
ご依頼人 ニイカ・タシコウメイトセイムカヅ・ウ 様													
TEL025-226-3468													
14:07													
印紙税申告納付につき新潟県税務署承認済													

毎度ご利用いただきありがとうございます。お取引の明細は上記のとおりでございます。

●ご利用のお客様へ

○ご利用の日および時間により当行所定の手数料（含消費税）を手数料機能磁のとお

お支払いいただいております。

○ただしキャッシングサービスの場合は、ご利用額の決済日にお取引口座からお支払い

いただきます。

■印紙税納付の必要がない場合は

*印で消しております。

裏面のご案内をおわせてご覧ください。

※重ならないように貼付してください。

INVOICE

新潟市歴史と文化のまちづくり推進議員連盟 御中

一般社団法人 佐渡観光交流機構



理事長 本間

新潟県佐渡市両津湊353

TEL: 0259-23-5230

登録番号：T111000501



ご請求金額

42,902 円 (税込)

項目	税別単価	数量	税別金額	消費税区分
【2025.10.30】				
1.視察費（NIPPONIA佐渡相川）	39,000	1式	39,000	10%
			非課税／不課税対象計	0円
			8%対象計	0円
			10%対象計	内消費税 3,902円
			合計金額（税込）	42,902円

【振込先】

一般社団法人佐渡観光交流機構 理事長 本間雅博

【11月29日】までに

お振込みをお願いいたします。

新潟市議会歴史と文化のまちづくり推進議員連盟 佐渡市視察参加者 視察費等 (10名) 令和7年10月30日(木)～31日(金)

名前	視察期間	所属	NIPPONIA佐渡相川 視察費 (按分) 42,902円 + 振込手数料275円=43,177	佐渡金山 視察 (按分)	合計
皆川 英二	令和7年10月30日(木)～31日(金)	翔政会	4798	1500	6298
小野 清一郎	令和7年10月31日(金)	翔政会	×	×	0
土田 真清	令和7年10月30日(木)～31日(金)	翔政会	4797	×	4797
小野 照子	令和7年10月30日(木)～31日(金)	翔政会	4797	1500	6297
小林 裕史	令和7年10月30日(木)～31日(金)	新風にいがた	4797	1500	6297
小山 進	令和7年10月30日(木)～31日(金)	新潟市公明党	4798	1500	6298
串田 修平	令和7年10月30日(木)～31日(金)	新市民クラブ	4798	1500	6298
高橋 聡子	令和7年10月30日(木)～31日(金)	ともに躍動する 新潟	4797	1500	6297
石附 幸子	令和7年10月30日(木)～31日(金)	市民ネットにいがた	4797	1500	6297
小泉 仲之	令和7年10月30日(木)～31日(金)	無所属の会	4798	1500	6298
合計			43177	12000	55177

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	5
支 出 項 目	☒ 調査研究費 ☐ 広聴費 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費		
実施年月日	令和 7 年 4 月 / 日 ~ 8 年 0 月 0 日		
支出年月日	令和 8 年 3 月 31 日		
支 出 金 額	4,100 円		
支 出 先	新潟市議会・市政調査会		
使 途 内 容	市政調査会・会費		
備 考	研修会開催経費		
領収書貼付欄	領 収 書 翔政会 皆川 英二 様 金 4, 1 0 0 円 也 ただし、令和7年度新潟市議会市政調査会会費（研修会開催経費）として、 上記金額を領収いたしました。 令和8年3月31日 新潟市議会市政調査会 会長 小野 清一郎 		

※領収書入

備考欄には按分率等を記入してください。

様式7

支出伝票一覧表

会派名	翔 政 会			皆川 英二	
支出年度	令和7年度	支出項目	研修費	No. 1	
整理番号	支出年月日	支出内容		支出金額	備考
1	R7.8.29	全国市議会議長会研究フォーラム参加旅費等		55,670 円	
2				円	
3				円	
4				円	
5				円	
6				円	
7				円	
8				円	
9				円	
10				円	
11				円	
12				円	
13				円	
14				円	
15				円	
16				円	
17				円	
18				円	
19				円	
20				円	
計				55,670 円	

※ 支出項目ごとに支出年月日順にまとめ、表紙として提出してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	/
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☒ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費		
実施年月日	令和 7 年 8 月 27 日～令和7年8月28日		
支出年月日	令和 7 年 8 月 29 日		
支 出 金 額	¥ 55,670 円		
支 出 先	新潟交通(株) (手か)		
使 途 内 容	全国市議会全議長会研究フォーラム参加旅費等 (振込手数料含む)		
備 考			

領収書貼付欄

領 収 書		No. 020639						
皆川 英二 様		令和 7 年 8 月 29 日						
下記金額正に領収致しました		新潟市 1丁目6番1号						
¥ 27,140 -		新潟 株式会社						
8/27・28 航空券代として		登録番号 T7110001003728						
内 訳	発行所	取扱者印						
	販売企画課							
※領収税率・内税抜金額・消費税額を添付してください。 備考欄0%は消費税額を記載してください。								
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">税率</td> <td style="width: 30%;">税抜金額</td> <td style="width: 40%;">¥</td> </tr> <tr> <td>%</td> <td>消費税額</td> <td>¥</td> </tr> </table>			税率	税抜金額	¥	%	消費税額	¥
税率	税抜金額	¥						
%	消費税額	¥						
経理46. B.6. 複								

取扱者印なきものは無効

NO. 553279

2025年7月24日

皆川 英二 様

2025/8/27~28

札幌

T7110001003728

新潟交通株式会社

旅行部 販売企画課

新潟市中央区万代1-6-1

代表取締役社長 星野佳人

TEL025-246-6366

担当 [REDACTED]

ご旅行費用請求書

基本費用	単価	数量	金額	摘要
航空券代	13,570	1	13,570	8/27 新潟～新千歳
航空券代	13,570	1	13,570	8/28 新千歳～新潟
小 計			27,140	
共通経費	単価	数量	金額	摘要
小 計			0	
合 計 金 額			27,140	
合 計 金 額			¥27,140	

この度は弊社をご利用いただき誠にありがとうございます。
上記の通りご請求させていただきます。何卒よろしくお願いいたします。

消費税率10%

税抜き

¥24,673

消費税

¥2,467

◆振込口座: [REDACTED]
新潟交通株式会社 販売推進係(ニイガタコウツウ. カ ハンバイスイシンガカリ)

《発行責任者及び担当者》

発行責任者	役職	氏名	電話連絡先
担当者	課長	[REDACTED]	025-246-6366
			025-246-6366

※クレジットカード決済の場合はバスセンター内店舗にて決済をお願いします。
(くれよん万代 営業時間 10:00~17:00 水曜定休)

領収書貼付用紙


お取引明細票

お取扱日	取扱店	号機	NB	銀行番号	口座店	支店	口座番号	通番	お取引内容
07-08-12	281	26	N					20	振込
万円	5千円	2千円	千円	500円	100円	50円	10円	5円	1円
3			1						
お取引金額								消費税	お取引後元帳残高
¥25,000								¥440	

お振込先 * **お振込明細** * 080020

お振込先 XXXXXXXXXX

ご依頼人 **かJTB 様**

139-2 (ミカドエ) 様

TEL025-226-3372

おつり ¥5,060

09:50

印紙税申告納付につき新潟県事務所へ送付

毎度ご利用いただきありがとうございます。お取引の明細は上記のとおりでございます。■印紙税納付の必要がない場合は、お印紙を貼付していただきます。

●ご利用のお客へ
○ご利用の日および時間により当行所定の手数料（含消費税）を手数料欄記載のとおりお支払いいただいております。
○ただしキャッシングサービスの場合は、ご利用額の日にお取引口座からお支払いいたします。

※重ならないように貼付してください。

新潟市議会

皆川 英二 様

登録番号 T8010701012863

請求書番号

発行日 2025年8月7日(木)

取引年月日 2025年8月26日(火)~2025年8月29日(金)

請求書

〒060-0001

北海道札幌市中央区北一条西6丁目1-2

アーバンネット札幌ビル8階

株式会社JTB 北海道営業部

事業部長

第20回全国市議会議長会研究フォーラムin札幌

毎度、当社をご利用くださりまして、誠にありがとうございます。

このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。

2025年8月15日(金) までに、お支払いいただきますようお願いいたします。

なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後

お早めにご連絡をお願いいたします。

ご 請 求 内 訳	数 量	金 額 (税込)	税率・税額
8月27日(火) 宿泊代金 (アパホテル<札幌すすきの駅前> シングル)	1	¥16,000	10%
合 計 (うち消費税)		¥16,000	¥1,455
10%対象小計		¥16,000	¥1,455
8%対象小計 ※軽減税率対象			/
消費税対象外			
内 入 金 額			

ご請求額

¥16,000

*振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】

【預金種別】

【口座名義】 株式会社JTB

か) ジェイティービー

【支店名】

【口座番号】

【お客様番号】

* お名前の前にお客様番号をご入力ください。

財認第2023-015号

新潟市議会

皆川 英二 様

登録番号 T8010701012863

請求書番号

発行日 2025年7月28日(月)

取引年月日 2025年8月27日(水)~2025年8月28日(木)

請求書

〒060-0001

北海道札幌市中央区北一条西6丁目1-2

アーバンネット札幌ビル8階

株式会社JTB 北海道営業部

事業部長

第20回全国市議会議長会研究フォーラムin札幌

毎度、当社をご利用くださいます、誠にありがとうございます。

このたびのお取引につきましては、下記のとおりご請求申し上げます。

2025年8月15日(金) までに、お支払いいただきますようお願いいたします。

なお、請求内容につきましてご不明な点がございましたら、請求書受領後
お早めにご連絡をお願いいたします。

ご 請 求 内 訳	数 量	金 額 (税込)	税率・税額
フォーラム参加費	1	¥9,000	対象外
合 計 (うち消費税)		¥9,000	
10%対象小計			
8%対象小計 ※軽減税率対象			
消費税対象外		¥9,000	
内 入 金 額			

ご請求額

¥9,000

*振込手数料はお客様にてご負担下さいますようお願いいたします

振込口座

【銀行名】

【預金種別】

【口座名義】 株式会社JTB
カ) ジェイティービー

【支店名】

【口座番号】

【お客様番号】

* お名前の前にお客様番号をご入力ください。

財認第2023-015号

第20回全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌

令和7年7月25日

フォーラム参加者様 各位

請求及び受領委任状兼口座振替依頼書

東京都千代田区平河町2-4-2

第20回全国市議会議長会研究フォーラム実行委員会

委員長 丸子 善弘

第20回全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌の参加費の請求及び受領につきましては、下記の業者に業務委託（委任）しております。お手数をおかけいたしますが、下記の銀行口座に振り込みをお願いいたします。

記

1. 振込先銀行 [REDACTED]
[REDACTED]
2. 口座名義 株式会社JTB カ) ジェイティービー
3. 受任者 北海道札幌市中央区北一条西6丁目1-2
アーバンネット札幌ビル8階
株式会社JTB 北海道事業部
事業部長 [REDACTED]

※参加費は1人につき9,000円（不課税・消費税対象外）となります。

支 払 証 明 書

金 額	1, 2 3 0 円
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☒ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費
内 容	全国市議会議長会研究フォーラム参加のための交通費 (快速エアポート 新千歳空港駅→札幌駅)
支払年月日	令和7年8月27日
支払先住所	札幌市中央区北11条西15丁目1-1
支払先名称	北海道旅客鉄道株式会社
上記金額を政務活動費として支払ったことを証明する。 令和7年8月27日 会 派 名 翔政会 議 員 名 皆川 英二	

支 払 証 明 書

金 額	2 1 0 円
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☒ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費
内 容	全国市議会議長会研究フォーラム参加のための交通費 (市営地下鉄・南北線 さっぽろ駅→大通駅)
支払年月日	令和 7 年 8 月 2 7 日
支払先住所	札幌市厚別区大谷地東 2 丁目 4-1
支払先名称	札幌市交通局
上記金額を政務活動費として支払ったことを証明する。 令和 7 年 8 月 2 7 日 会 派 名 翔政会 議 員 名 皆川 英二	

支 払 証 明 書

金 額	210円
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☒ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費
内 容	全国市議会議長会研究フォーラム参加のための交通費 (市営地下鉄・南北線 すすきの駅→中島公園駅)
支払年月日	令和7年8月27日
支払先住所	札幌市厚別区大谷地東2丁目4-1
支払先名称	札幌市交通局
上記金額を政務活動費として支払ったことを証明する。 令和7年8月27日 会 派 名 翔政会 議 員 名 皆川 英二	

支 払 証 明 書

金 額	2 1 0 円
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☒ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費
内 容	全国市議会議長会研究フォーラム参加のための交通費 (市営地下鉄・南北線 大通り駅→さっぽろ駅)
支払年月日	令和7年8月28日
支払先住所	札幌市厚別区大谷地東2丁目4-1
支払先名称	札幌市交通局
上記金額を政務活動費として支払ったことを証明する。 令和7年8月28日 会 派 名 翔政会 議 員 名 皆川 英二	

様式 5.(議員用)

支 払 証 明 書

金 額	1, 2 3 0 円
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☒ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費
内 容	全国市議会議長会研究フォーラム参加のための交通費 (快速エアポート 札幌駅→新千歳空港駅)
支払年月日	令和 7 年 8 月 2 8 日
支払先住所	札幌市中央区北 11 条西 15 丁目 1-1
支払先名称	北海道旅客鉄道株式会社
上記金額を政務活動費として支払ったことを証明する。 令和 7 年 8 月 2 8 日 会 派 名 翔政会 議 員 名 皆川 英二	

第20回 全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌 (8/27～8/28 札幌市)

8月27日(水)

7:00 新潟空港 着 <小野議長と合流>

7:35 新潟空港 発(ANA1857便) 議長:00X(窓) 皆川議員:00X(通) 工藤:00X

8:55 新千歳空港 着

9:19 新千歳空港駅 発(快速エアポート35号・小樽行 @1,230円)

9:57 札幌駅 着

10:06 さっぽろ駅 発(地下鉄南北線・真駒内行 @210円)

10:07 大通駅 着

<徒歩移動・大通公園周辺で昼食> 12:30までに会場入り

11:30 開場

第20回 全国市議会議長会研究フォーラム in 札幌 (参加費9,000円)

【会場 札幌文化芸術劇場h i t a r u

札幌市中央区北1条西1丁目札幌市民交流プラザ4F】

13:00 開会式

13:20 基調講演「主権を預かる誇りと責任(仮)」 講師:伊吹 文明 元衆議院議長

14:20 休憩

14:40 パネルディスカッション

「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足問題を考える(仮)」

16:40 次期開催地挨拶

16:50 終了

<徒歩移動(15分)>

17:15 ホテルチェックイン

【アパホテル札幌すすきの駅前 (宿泊料:朝食付き16,000円)】

17:44 すすきの駅 発(地下鉄南北線・真駒内行 @210円)

17:45 中島公園駅 着

<徒歩移動(5分)>

18:00 意見交換会

【会場 札幌パークホテル B2F「パークプラザ」

札幌市中央区南10条西3丁目1番1号】

18:45 終了

【宿泊先】 小野議長、皆川議員:アパホテル札幌すすきの駅前 (会場より徒歩15分)

工藤:ホテルリブマックス札幌すすきの (議長宿泊先より徒歩15分)

視察（出張）報告書

令和 7 年 8 月 27 日

新潟市議会議長 様

氏 名 皆川 英二

下記のとおり、視察（出張）が終了したので報告します。

視 察 議 員	皆川 英二
期 間	令和 7 年 8 月 27 日 (水) ~ 令和 7 年 8 月 28 日 (木)
視 察 先	札幌市
視 察 用 務	第20回全国市議会議長会 研究フォーラム in 札幌
視察先面会者	別紙のとおり
概要及び所見	別紙のとおり

第20回全国市議会議長会 研究フォーラム in 札幌 報告書

皆川 英二

・令和7年8月27日(水)～8月28日(木)

- ・全国の市区議会議員が一堂に会し、共通する政策課題等について情報交換を行うと共に、議員同士の一層の連携を深めることを目的とした研究フォーラムが開催された。

今回は「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」をテーマに、約2,300名の議員参加のもとで行われた。

- ・1日目は、開会式後基調講演として「主権を預かる誇りと責任」と題して、伊吹文明元衆議院議長から講話があり、その後のパネルディスカッションでは、「多様な人材の参画促進の観点から地方議会議員のなり手不足を考える。」と題して、コーディネーター並びに4名のパネリストの皆様のディスカッションが行われた。
- ・2日目は、課題討議が行われ、「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」と題して、コーディネーターの進行下、長野県岡谷市、鹿児島県南さつま市、石川県白山市の議会から報告があった。

< 所 見 >

- ・ここ数年地方議員のなり手不足問題が、頻繁に取り上げられるようになっております。

そして、それらに対しては多くの有識者から様々な原因や問題点がご指摘されておりますが、どれも解決策にはなっていないように感じられます。

なり手不足とは、一般的には「候補者が議員定数に満たない状態」と捉えられておりますが、その原因がどこにあるのか掴みきれていない現状ではないでしょうか。

例えば、厚生年金や退職金等の補償が全くなく、人生計画を立てられない。ごく一部を除いて議員報酬が低水準で報酬だけでは生活が出来ない。

労働時間に制限がない等々、結果的に家族の負担が大きくなることにより、二の足を踏むという話が散見されます。

それらを踏まえて、私の体験から申し上げますと、若年層ばかりではなく、社会経験豊富な定年退職後に子育て等を終えた後に議員になれるような社会環境を考えて行くことも必要ではないのでしょうか。

社会経験豊富な人から、議員になってもらうことにより、更に充実した次元の高い議会が構築されるのではと期待するところです。

ただ一方で、選挙は一人では戦えないわけですから、後援会等組織を整えられるかどうかの一つの難関になってくる。

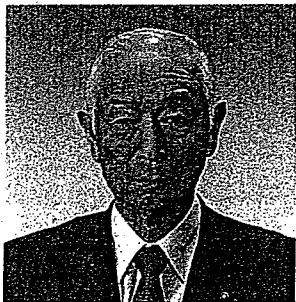
しかしながら、昨今の選挙方法も様変わりし、SNS等でも十分に選挙ができる様に変化してきておりますが、それではその解決策としては、前述の小規模市町村議員報酬の検討や会議規則による育児介護の取り扱いの明確化、更に兼業、副業を可能にする制度設計等、地方議員側の変革が必要なのではないでしょうか。

第20回 全国市議会議長会 研究フォーラム



「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」

◆主催者挨拶



全国市議会議長会会長
山形市議会議員

丸子 善弘
まるこ よしひろ

第20回全国市議会議長会研究フォーラムを、ここ札幌市において開催いたしましたところ、多数のご参加をいただき厚く御礼申し上げます。

本フォーラムは、全国の市区議会議員が一堂に会し、共通する政策課題等について情報交換を行うとともに、議員同士の一層の連携を深めることを目的としております。

さて、令和5年の通常国会において、地方議会の役割及び議員の職務等の明確化などを内容とする地方自治法の一部改正法が成立するなど、多様な人材の地方議会への参画促進に向けた環境整備が進められています。

若者や女性、会社員など多様な人材の市議会への参画を促し、議会を活性化することは、多くの市議会に共通の緊要な課題であります。

一方、令和5年の統一地方選挙では、無投票当選者の割合が高まるなど、特に小規模市議会における議員のなり手不足が深刻化しております。

今後は、人口減少の加速化や超高齢化の進展などにより、議員のなり手不足が多くの市に広がることが危惧されており、多様な人材の市議会への参画を促す対策は、議員のなり手不足を克服する一助にもなると期待されております。

我々市議会は、各市の実情を踏まえ、主体的・持続的な議会改革を進め、それぞれ市の最高意思決定機関として、市民にとって魅力ある議会をつくる必要があります。

今回の研究フォーラムでは、「地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて」をテーマとし、各市における地方議会議員のなり手不足問題に係る事例を検証するなど、改めて地方議会の課題を整理した上で、その解決に向けた今後の方向性を展望します。

各方面からお招きする講師の方々をはじめ皆様方から活発なご意見をいただきながら広く討議し、実りある成果が得られますとともに、今後の活動の一助となることを祈念いたします。

◆プログラム

■第1日目 8月27日◎ [会場] 札幌文化芸術劇場 hitaru
[中継会場] 札幌パークホテル 3F「エメラルド」

13:00	開会式
13:20	基調講演 「主権を預かる誇りと責任」 伊吹 文明 元衆議院議長
14:20	休憩
14:40	パネルディスカッション 「多様な人材の参画促進の観点から 地方議会議員のなり手不足問題を考える」 コーディネーター 辻 陽 近畿大学法学部教授 パネリスト 牧原 出 東京大学教授 白石 洋一 読売新聞東京本社政治部長 山下 節子 山口県宇部市議会議員 長内 直也 北海道札幌市議会議員
16:40	次期開催地挨拶
16:50	終了
18:00	意見交換会 [札幌パークホテル B2F「パークプラザ」]
18:45	意見交換会終了

■第2日目 8月28日◎ [会場] 札幌文化芸術劇場 hitaru
[中継会場] 札幌パークホテル 3F「エメラルド」

9:00	課題討議 「地方議会議員のなり手不足問題の取組報告」 コーディネーター 牧瀬 稔 関東学院大学法学部地域創生学科教授 初め報告書 今井 康善 長野県岡谷市議会前議長 平神 純子 鹿児島県南さつま市議会議員 中野 進 石川県白山市議会議員
11:00	閉会式
11:30	視察

◆ 基調講演



馬 師

伊吹 文明 いぶき ぶんめい

元衆議院議長

昭和13年京都生まれ。生家は今も続く文久年間創業の室町の織維問屋。京都大学経済学部卒業後、大蔵省(当時)に入省、英国駐在、蔵相秘書官を経て、昭和58年より衆議院議員(当選12回)。労働大臣、国家公安委員長、文部科学大臣、財務大臣、自民党幹事長、衆議院議長を務める。令和3年9月議員引退。現在も講演、テレビ出演や各界のご相談等にも対応している。

◇ パネルディスカッション

コーディネーター

辻 陽 つじ あきら

近畿大学法学部教授

1977年生まれ。京都大学大学院法学研究科博士後期課程中途退学。京都大学博士(法学)。近畿大学講師、准教授を経て、2016年より現職。首長一国会関係といった地方自治体における制度構造に関心をもち、近年は米国との地方自治制度の比較にも関心を寄せる。著書に「戦後日本地方政治史論」(木鐸社、2015年)、「日本の地方議会」(中公新書、2019年)、「テキスタイルブック地方自治(第3版)」(共著、東洋経済新報社、2021年)など。

パネリスト

牧原 出 まきはら いづる

東京大学教授

愛知県西尾市生まれ。東京大学法学部卒業。東京大学法学部助手、東北大学法学部助教授、東北大学大学院法学研究科教授を経て、2013年4月より現職。総務省自治体戦略2040構想研究会座長代理、第32次・第33次地方制度調査会委員、総務省持続可能な地方財政のあり方に関する研究会委員。専攻は行政学・政治学。論文に「新型コロナ時代の都道府県・市町村」「ガバナンス」2020年7月号、「「いわゆるオンライン会議」としての地方議会の可能性」(地方自治)第880号、「改正地方自治法における国の一般的指示権はどう動作するか?」(地方自治)2024年11月号

パネリスト

白石 洋一 しらいし よういち

読売新聞東京本社政治部次長

1976年、島根県大田市生まれ。島根県立松江北高校、慶応義塾大学法学部政治学科卒。99年読売新聞東京本社入社。大津、千葉両支局を経て、2005年から政治部。首相官邸や与野党、外務、防衛両省などの取材を長く担当。新潟支局でも勤務。現在は政治部次長としてコラムを執筆。アメリカのダウ・ジョーンズ社との協業で、法人向けの新しいデジタルメディア「DOW JONES 読売新聞 Pro」も担当。共著多数。

パネリスト

山下 節子 やました せつこ

山口県宇部市議会議員

山口県宇部市出身。1976年中央大学法学部卒業。2007年5月から宇部市議会議員を務め、連続5回当選。現在5期目。その間、総務財政委員会委員長、文教民生委員会委員長等を歴任。2023年5月、初の女性議長として第39代宇部市議会議長に就任し、2025年5月には第40代議長に再任。議員活動の傍ら、宇部市日中友好協会会長、宇部市柔道協会顧問、NPO法人「国際環境支援ステーション」理事を務めるなど、幅広く様々な活動を行っている。

パネリスト

長内 直也 おさない なおや

北海道札幌市議会議員

昭和39年札幌市生まれ。北海道大学大学院工学研究科修了。同大学院では寒冷地における新エネルギーの開発を研究。その後、一度金融業界へ。平成11年5月札幌市議会議員に初当選。現在7期目。総務委員会委員長、建設委員会委員長、文教委員会委員長、議会運営委員会委員長等を歴任。今年4月札幌市議会議員に就任。大学院時代の研究で得た知識と経験を活かし、専門家の一人として北海道・札幌のGX推進に意欲を燃やしている。

◇ 課題討議

コーディネーター

牧瀬 稔 まきせ のり

関東学院大学法学部地域創生学科教授

法政大学大学院人間社会研究科博士課程修了。横須賀市役所(横須賀市都市政策研究所)、(公財)日本都市センター研究室、(一財)地域開発研究所等を経て、2017年より関東学院大学に勤務。関東学院大学社会連携センター長、関東学院大学地域実践研究所長、社会構想大学院大学特任教授等を兼ねる。昨年度は、北上市、日光市、ひたちなか市、東大和市、新宿区、焼津市、西条市、太子町議会等の政策アドバイザーとして関わった。

関係報告者

今井 康善 いまい やすよし

長野県岡谷市議会前議長

1966年10月生まれ。東海大学理学部中退。家業の化粧品店を経営し、平成11年より有限会社アキドワ代表取締役。平成27年5月から岡谷市議会議員を務め、現在3期目。令和元年5月から総務委員長、令和3年5月から副議長、令和5年5月から第25代岡谷市議会議長を歴任。令和5年の統一地方選挙での定数割れ無投票を機に、議会では「なり手不足解消」へ向けたシンポジウムや市民との対話集会を開催。選挙公報が発行されなかったため、マニフェストスイッチで各議員の公約を市民と共有した。

関係報告者

平神 純子 ひらがみ じゅんこ

鹿児島県南さつま市議会議員

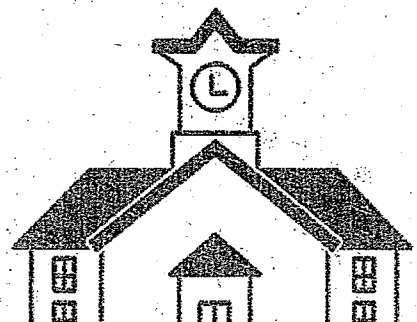
1957年鹿児島県大浦町生まれ(南さつま市)。2010年鹿児島大学大学院人文社会科学部研究科法学専攻修士課程修了。1995年(38歳、大学4年生)国月の選挙で初当選、県議選を含め10回選挙6勝4敗(2回は無投票当選)。1996年「鹿児島県内の女性議員を100人にする会」を立ち上げ、「全国自治体女性議員マップ」作成、候補者発掘から選挙までボランティアで関わる。県内の女性ゼロ議会6自治体の解消に向け奮闘中。

関係報告者

中野 進 なかの すずむ

石川県白山市議会議員

1969年生まれ。高校からラグビー部に所属し、社会人になってからもクラブチームで続けたほどの体育会系。平成29年に初当選し、現在3期目。議会では、令和3年実施の市議会議員選挙における出馬状況や投票率低下を機に持続可能な議会の実現を目指し、議員のなり手不足等の問題解決や将来の議員像に対する認識を市民と共有するため、MGK(みんなでギカイを考えるキカイ)を発足。当時副議長として、メンバーの中心となり取り組んだ。



支出伝票一覧表

会派名	翔 政 会			皆川 英二	
支出年度	令和7年度	支出項目	広報費	No. 1	
整理番号	支出年月日	支出内容		支出金額	備考
1	R7.9.1	市政報告、印刷、製本、折込		406,577 円	
2	R8.3.25	市政報告、印刷、製本、折込		405,468 円	
3				円	
4				円	
5				円	
6				円	
7				円	
8				円	
9				円	
10				円	
11				円	
12				円	
13				円	
14				円	
15				円	
16				円	
17				円	
18				円	
19				円	
20				円	
計				812,045 円	

※ 支出項目ごとに支出年月日順にまとめ、表紙として提出してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	/
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☒ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費		
実施年月日	令和 7 年 8 月 31 日		
支出年月日	令和 7 年 9 月 1 日		
支 出 金 額	¥406,577 円		
支 出 先	松浜印刷所		
使 途 内 容	市政報告、印刷、製本、折込		
備 考	折込日、令和7年8月31日、手配分、280部		

領 収 証		No. _____
皆川 英二 様		
金 額	百 千 円	
	¥406577	
但し市政報告印刷代として。		
上記の金額正に領収致しました		
令和 7 年 9 月 1 日		
新潟市北区松浜本町4丁目10-24		
松 浜 印 刷 所		
TEL (025) 259-2039		
FAX (025) 259-2144		
登録番号: T3810807980588		
現 金	¥	0
小切手	枚	
手 形	枚	
振 込	¥	
相 殺	¥	

領 収 書 貼 付 用 紙

納 品 ・ 請 求 書

令和7年8月21日

皆 川 英 二 御 中

〒950-3125

新潟市北区松浜4丁目10-24

松浜印刷所

電話 025-239-2039

FAX 025-239-2144

登録番号:T3810807980588

毎度格別のお引立て有難うございます。
下記の通り納品・請求致しますので宜しくお願い致します

品 名	数 量	単 位	単 価	金 額
・ 市政報告 No.31 B3両面				
両面カラー コート90k	15,200	枚	19.60	298,000
二つ折り				
※版下作成・変更・レイアウト作成等すべて含む				
※配送作業含む				
(8/31(日)折込分)配送含む				
※北区の新聞折込枚数+(くるみる)	14,920	枚	4.8	71,616
①NIC松浜 5700+(600)	6,300	枚		
②NIC木崎 1890+(60)	1,950	枚		
③NIC豊栄 4950+(300)	5,250	枚		
④水原・田代新聞店(旧豊栄一部)	280	枚		
⑤読売新聞 440(松浜)+700(豊栄)	1,140	枚		
合計	14,920	枚		
事務所分	280			
小 計				369,616
消 費 税				36,961
合 計 金 額				406,577
備 考				

新潟市議会議員 皆川英二

市政報告

発行/期 政 会
新潟市議会議員

皆川 英二

事務所：新潟市北區
新元島町3963-10TEL 025-258-2029
FAX 025-258-6090

はまなす「地域交通」研究会

「おらつてのバス」の 歩みと絶対的な必要性

・平成十五年十二月「はまなす地域交通研究会」発足

【路線バスの状況】

・平成十六年には、先進地二ヶ所を視察し、その後マイクロバス試乗調査や新崎駅前で利用者実態調査及びアンケートを実施し、毎月例会を開催し、バス路線の検討などバス運行事業計画の作成に着手。

・平成十七年七月、平成十八年三月迄地域住民への説明会を自治会単位で実施し、合わせてアンケートも行なう。

・平成十八年に区バス運行開始に際し、区バス運行への協力がスタート。

・平成二十二年、区バスから住民バスへ移行し運行開始。
運行一年目は、ジャンボタクシーを使用するも、二年目にはジャンボタクシーによる運行に限界を知る。

・平成二十四年、運行事業者と車輛の変更を行ない、住民バス「おらつてのバス」の運行をスタートさせる。

・平成二十七年、住民バス補助要項見直しによる収支率の変更、「シニア半わり」の制度導入の恩恵を受けながら現在の状況と課題に向き合いながら、地域ニーズに合った運行計画を図り、より使い易く持続可能な公共交通とするために、研究を続けながら現在に至る。

「地域交通研究会」(村山和夫座長)の皆様の献身的な関わりのお陰で今ではこの地域の住民にとってなくてはならない交通手段になっていることは、皆様周知のとおりです。

又研究会を立ち上げてから二十二年余り経過しておりますが、その間殆んど無償の努力で、ここまで発展させてこられたことに住民の一人として敬意を表するところです。

勿論、そこには新潟市の大きな支援があったからこそ為し得ることができたのではないのでしょうか！

〈今後の検討事項は〉

・現在取り組んでいることが「自動音声」設備の設置です。

このことは、現在停留所のアナウンスを運転士さんが、運転をやりながら行なっておりますが安全を考慮すれば「自動音声」に切り替えることが必然と考え、新潟市側と交渉しているところです。是非とも実現したいものです。

・停留所を増やし、利便性を高める。

・運行ルートやダイヤの検討。

・現状のバスとは別途で、買物、病院、役所等の利用を対象とした巡回バスの運行。

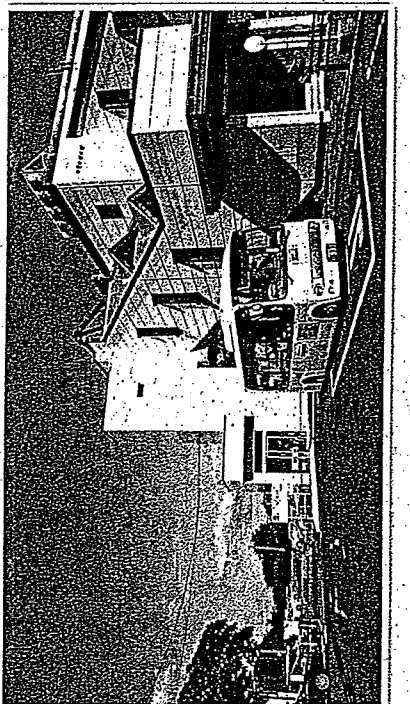
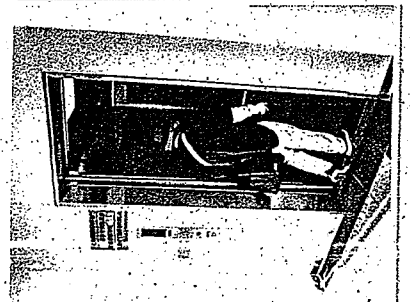


人口減少によるバス利用者の減少やバス運転手不足等の原因により毎年路線バス運行便数が減少している状況です。今年の新ダイヤに於いても、かなりの減便となりました。

このような状況下に於いては、今後ますます住民バスの必要性が増して行くことは疑う余地のない事実とされます。

幸いにも、新崎駅にエレベーターが設置されたことにより駅の利用客が増加傾向にあり、その役割を担っている「おらつてのバス」は「住民の足」としてなくてはならないものとして利用されております。

今後共「地域交通研究会」の皆様を期待するところです。



避難所を兼ねてなえた子ども、子育て中の若い人、高齢者の交流することのできる施設の設置について

七月一日に北区に於いて、市長と市民のトークが開催され、住民の意見が要望として提出されました。

北地区自治振興会からは、昨年に続いて「子ども、子育て中の若い人、高齢者まで交流できる居場所（避難所としての役割を担う）の設置についての要望が提出されました。

昨年は合併によって北区は本当に良くなった。一方で区内間格差が顕著になり、一体感の醸成にはほど遠い状況でした。その格差解消の一つとして北地区に子どもから高齢者までが一緒に生活するつながりを体験できる複合施設を建設して欲しい旨の要望が出されていました。

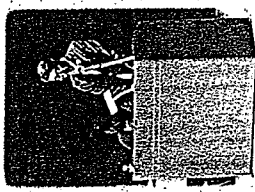
その要望に対して市長も理解を示し、市としても今後、十分検討していく必要があるとの見解を示してくれました。

しかしながら、本市は公共施設が多岐にわたっており、公共施設の再編を進めていかなければならない現状から検討していかなければならないとの返答もありました。

それらをふまえて今年、公共施設の再編に合わせて、課題も解決できるようにお願いすることになりました。内容は以下の通りです。

【要望事項】

- ① 公共施設再編を検討する中において、松浜地区に避難所機能や子どもから高齢者まで幅広い世代の居場所を兼ね備えた多世代交流施設（以下「施設」という）を設置すること
- ② 施設は津波等の災害時避難場所になり得る高台に設置すること
- ③ 施設は地域住民が集いやすい中心の場所に設置すること
- ④ 施設を検討する際は地域住民を参加させること



松浜地区「区長と語る会」

明を受けた後に、自治振興会及びコミュニティ協議会の皆さんから数多くの意見・要望が出され、大変有意義な会になりました。

7月31日に松浜地区「区長と語る会」が開催され、丸山 寛北区長、阿部辰也北区建設課長よりそれぞれ説明

1 「令和7年度 北区の主な取り組み」について

丸山 寛 北区長

- 1 自然の魅力輝くまち
 - ① キタクななる福島潟整備事業
 - ② 北区水辺大学
 - ③ キタクななるみどりの経管共創事業
 - ④ 松浜海岸の自然環境保全と地域の魅力づくり事業
 - ⑤ 水辺ふるさとづくり事業

2 未来へ続く活力あるまち

- ⑥ 松浜エリアアノベーション推進事業
- ⑦ キタクななる魅力創造プロジェクト
- ⑧ 大学連携「未来のまちづくり」事業
- ⑨ 北区トマト王国プロジェクト
- ⑩ 商店街ブランディング事業
- ⑪ 産官学産連携まちなかリノベ事業

3 いきいきと心豊かに暮らせるまち

- ⑫ 北区エンジョイスポーツ事業
- ⑬ 出張児童館事業
- ⑭ 北区もの忘れ検診

4 安心・安全で住みよいまち

山 「令和7年度 自治会要望土木工事の採択結果」と「令和8年度要望土木工事の流れ」について

阿部辰也 北区建設課長

令和7年度は193自治会の40%に当たる73自治会から要望の提出があった。又要望書を提出した総ての自治会からは約束の上限である5件以内の要望となっている。

- 要望土木工事の採択結果は、建設課の担当者が必ず現地に赴いて危険性・必要性を調査・精査し
 - ・「重度・緊急」の判定となったものは全て採択。
 - ・「中度」以下の判定となったものは採択なし。
 - ・側溝の要望件数が最も多く、採択件数も最も多い。
 - ・公園、安全施設は予算が少なく、緊急度や真に必要な性があるものでないと採択されない。

令和8年度以降の自治会要望土木工事の流れについては、各自治会長に説明済みですので、様式にのっとり要望書を提出すること。



山 松浜地区地域課題・協議事項について

① 多世代交流施設の設置について

この件に関しては「市長と市民のトーク」でも要望させていただきました。

- ・ 回答としては、北地区公民館を緊急避難先として指定済。
- ・ 多世代交流施設の設置については「市長と市民のトーク」での市長答弁のとおり、施設再編の見直しの一環として、地域の課題を洗い出し、将来の世代に過度な負担を残さないよう『質』『量』『経費』を適正なバランスを考えながら、将来像について検討。「既設公共施設を活用しての多世代交流施設」

② 地域活動の持続に向けた補助制度のあり方

- ・ コミ協開始後、補助率の一部を除いては経費の増額や対象拡充はなし。
- ・ 地域と連携した学校の授業等にも活用。



新潟市職員カスタマー ハラスメント対策基本方針

① 基本的な考え方

本市が目指す都市像を実現するためには、職員が資質・能力を高めるとともに、市民からの要望や意見を真摯に聴きとり、市民の視点に立って考え、行政サービスの提供や施策の形成を行うことが重要です。

一方で、要望や意見を頂く際には、職員の人格を否定する言動や脅迫、暴力など、職員の尊厳を傷つける行為が行われたものもありました。これらの行為は職場環境の悪化を招くだけでなく、市政を停滞させ、他の市民へのサービス低下を引き起こす、重大な問題です。

新潟市では、これらの行為に対しては、職員を守るとともに、市政に停滞を生じさせることなく適正な行政サービスの提供を継続していくため、組織一丸となって毅然と対応していきます。

② 新潟市役所における

カスタマーハラスメントの定義

○「要求内容の妥当性」を欠く場合の例

- ・行政サービスに瑕疵・過失が認められない場合
- ・要求の内容が本市の行政サービスの内容と関係がない場合

○「要求を実現するための手段・態様」が社会通念上不相当なもの」の例

- ・身体的な攻撃（暴力、傷害など）
- ・精神的な攻撃（脅迫、中傷、名誉棄損、侮辱、暴言など）
- ・威圧的な言動
- ・士下座の要求

他7項目

その他詳細は新潟市ホームページ

③ カスタマーハラスメントへの対応

職員がカスタマーハラスメントに該当する行為を受けた場合は、複数の職員で対応するなど組織的に対応します。また、状況に応じて、警告を行う、対応を中止する、退去を要求するなど毅然とした対応を実施します。さらに悪質な場合には、弁護士に相談する、警察へ通報するなど法的な対応を行います。

④ 基本的な対策

- ・カスタマーハラスメントに対する新潟市の基本姿勢の明確化
- ・カスタマーハラスメントへの対応等の明確化、職員への周知

他3項目

詳細は新潟市ホームページで

新潟市職員カスタマーハラスメント対策基本方針施行に伴い、現在市議会もハラスメントの防止、根絶に関する条例制定に向けて検討中です。

既に検討会が数回行われ、条例の（案）が作成され、検討中ですので、その内容は後日お知らせできるものと考えております。

松浜小学校に「発達障がい通級指導教室」新設が決まりました

【通級指導教室について】

◎通級指導教室とは、障がいに伴った特別な指導を週に一回程度行うもので、令和六年度では小中学校二十九校に設置されており、計七二八名の児童生徒が利用しています。

○北区では葛塚東小学校に設置されています。

松浜小学校にはこれまで、通級が設置されておらず、これらの指導を必要としている子どもたちは、葛塚東小学校まで通う必要がありました。通いが遠距離なため、当然保護者の送り迎えが必要になるとともに、往復と指導で二時間という時間を費やし、通級への行き来が子どもと保護者のストレスになったり通級利用開始の妨げとなったりすることもありました。

通級に通う子どもは、他の子と同じように取り組んでも、上手くいかなかった経験をしています。「自分は頑張っても上手くできない」と感じるなど、自分のことを肯定的に受け止めにくい状態にある子どももいます。また、このような子どもの様子を見て、「子育ての方法が間違っていたのだから」と悩んでいる保護者もいます。

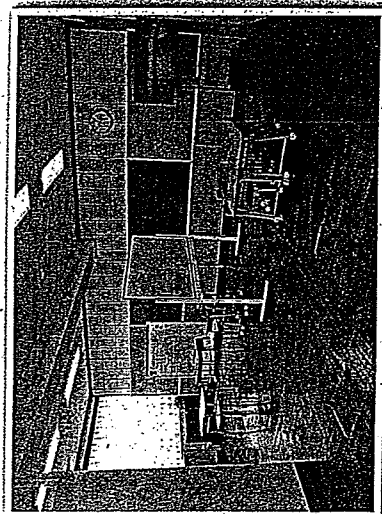
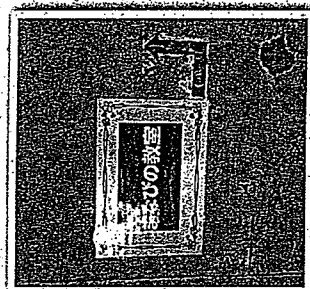
通級での指導は、「苦手や困難が改善する機会を得ることで、自信につながる」

「周囲との比較による劣等感を感じる」ことが少なくなり、自己肯定感を高められる。」「集団生活への適応力を高め、将来の社会参加につなげていくことができる。」などメリットも大きく、学校生活に十分に適應していくことが難しい児童に、個々の能力・特性に応じた指導を行うことができるのです。

このような現状を鑑み、令和七年度より松浜小学校に通級が開設されます。また、しばらくの準備期間を経て、近隣の太夫浜小学校・南浜小学校・濁川小学校の子どもたちも、松浜小学校の通級指導を受けることが可能となります。

松浜小学校の通級が、そのような思いをもった子どもや保護者にとって、安心できる時間や場所となり、自信や意欲につながることを期待しています。

長年の懸案であった通級指導教室新設の決定は、小坂井秀行前校長の強い熱意と努力、そして教育委員会会の英断によって成し得ることができたものと考えます。そしてこの教室は平田伸一現校長の下、今後しっかりと受け継がれていくものと期待するところです。そして私達も寄り添いながら、これからも側面から協力してまいります。



松浜地区雨水対策

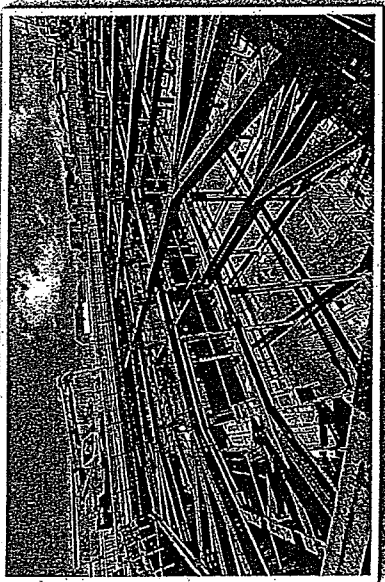
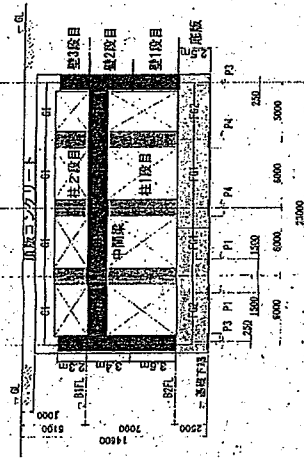
雨水貯留地の現況

近年の度重なる集中豪雨から住民の安心、安全を守るため、松浜地区では、雨水対策として、貯留地の埋設、そして現在も雨水調整池工事が着々と進められております。

今回も令和五年二月、令和六年十一月に続いて進捗状況を報告させていただきます。

現在は五月に壁・柱コンクリートを打設し、その後土留壁工三段目の解体撤去を終えたところです。

断面図



松浜雨水ポンプ場の整備について

整備概要

- 現況
 - ・排水区域 : 130ha (松浜第1排水区+松浜第2排水区)
 - ・現在の整備水準 : 降雨強度 約19mm/h
 - ・平成10年8月4日新潟豪雨 (97mm/h) 床上・床下停水 82件
 - ・ポンプ場 : 昭和35年度未供用 (6.3年度 : 目標耐用年数75年)
- 目的
 - ・浸水対策 : 降雨強度 約19mm/h ⇒ 計画降雨強度 約50mm/hに向上 ⇒ 浸水被害の軽減
 - ・施設改修 : 老朽化及び耐震・耐凍害性能なし ⇒ 新たな施設の建設 ⇒ 下水道施設の機能確保
- 施設規模
 - 「ポンプ場 (4.0m/s) + 調整池 (16,500m³)」

今後のスケジュール

- ・過年度 : 流入幹線 (φ2400mm~2800mm) 貯留管として供用開始済
- ・令和3~8年度頃(予定) : 調整池、流入配管、調整池完成後、暫定供用開始
- ・令和5~7年度(予定) : 松浜3号幹線 (φ1800mm) 整備
- ・令和8年度(予定) : 放流管 (φ1500mm) ポンプ場 (能力: 4.0m/s) 整備
- ・令和12年度頃(予定) : ポンプ場供用開始予定

皆様の意見を、要望を
お聞かせ下さい。
責任を持って
対応いたします。



新潟市議会議員

皆川 英二

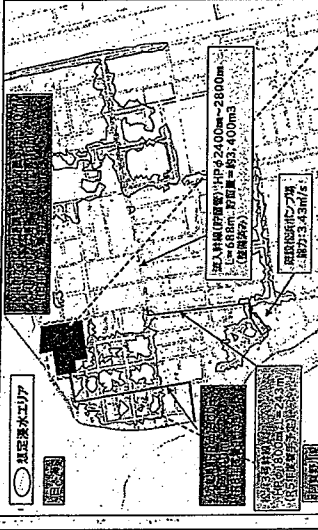
連絡先

新潟市北区新元島町3953-10
☎ 258-2029
FAX 258-6090

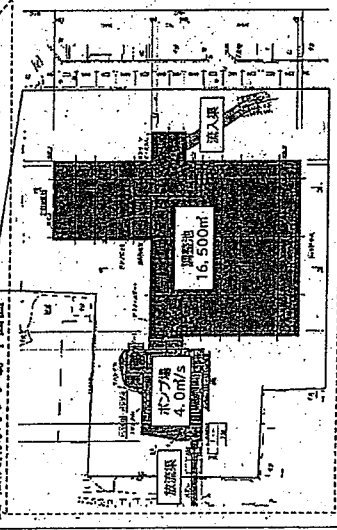
(本誌は政務活動費の一部を充当しています。)

位置概要

■ 松浜ポンプ場周辺状況図(97mm/h降雨における想定過水エリア)



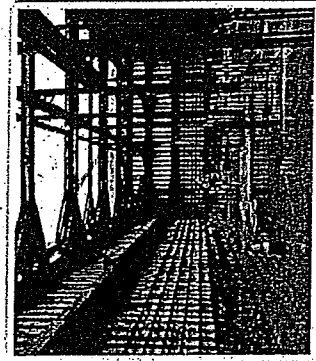
松浜雨水ポンプ場 平面図



先日、下水道部長から資料をいただいた際に進捗状況をお聞きしましたら、今のところ予定に近い工程で工事が進んでいるとのこと。今後も事故なく工事がスムーズに進んでいくことを願っています。



土留鋼材3段目一部、
4段目全て撤去



支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	2
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☐ 資料購入費 ☒ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費		
実施年月日	令和 8 年 3 月 15 日		
支出年月日	令和 8 年 3 月 25 日		
支 出 金 額	¥ 405,468円		
支 出 先	松浜印刷所		
使 途 内 容	市政報告、印刷、製本、折込		
備 考	折込自令和8年3月15日 手配分200部		

領 収 証

皆川 英二 様

金 額	円	千	百	十	元
		4	0	5	468

但し印刷代 折込金も含む

上記の金額正に領収致しました

令和 8 年 3 月 25 日

新潟市北区松浜本町4丁目10-24

松 浜 印 刷 所

TEL (025) 259-2039

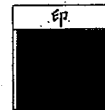
FAX (025) 259-2144

登録番号: T3810807980588

No.



現 金	¥	9	
小切手	枚		
手 形	枚		
振 込	¥		
相 殺	¥		



納品・請求書

令和8年3月15日

皆川 英二 御中

〒950-3125

新潟市北区松浜町三丁目10-24

松浜印刷所

電話 025-259-2039

FAX 025-259-2144

登録番号:T3810807980588

毎度格別のお引立て有難うございます。
下記の通り納品・請求致しますので宜しくお願い致します

品 名	数 量	単 位	単 価	金 額
・ 市政報告 No.32 B3両面				
両面カラー コート90k	14,920	枚	19.97	297,952
二つ折り				
※版下作成・変更・レイアウト作成等すべて含む				
※配送作業含む				
(3/15(日)折込分)配送含む				
※北区の新聞折込枚数+(くるみる)	14,720	枚	4.8	70,656
①NIC松浜 5700+(600)	6,300	枚		
②NIC木崎 1820+(60)	1,880	枚		
③NIC豊栄 4850+(300)	5,150	枚		
④水原・田代新聞店(旧豊栄一部)	250	枚		
⑤読売新聞 440(松浜)+700(豊栄)	1,140	枚		
合 計	14,720	枚		
事務所分	200			
小 計				368,608
消 費 税				36,860
合 計 金 額				405,468
備 考				

新潟市議会議員 皆川英二

市政報告

発行
新潟市議会議員
皆川英二

事務所：新潟市北区
新元町3953-10
TEL 025-258-2029
FAX 025-258-6090

「福島潟ラムサール条約 湿地登録に向けて」

令和八年十一月三十日～十二月二日の三日間、第五回世界湿地都市ネットワーク市長会議が新潟市で開催されることになりました。

このことは、令和四年五月に日本初の「ラムサール条約湿地自治体認証」登録され、その後の取り組みの成果によるものです。

新潟市にはラムサール条約湿地「佐潟」など十六潟が存在しており、その中に「福島潟」も含まれております。

現在「福島潟」はラムサール条約湿地には登録されてはおりませんが、登録に向けた軌跡があります。

平成二十四年にラムサール条約湿地の登録に必要な国際基準を満たし、住民の賛成など国内条件が整えば登録できる湿地（潜在候補地という）に「鳥屋野潟」と共に選ばれていました。

「福島潟のラムサール条約湿地」登録を推進すべく、平成二十八年九月に北区自治協議会の総意をもって「要望書」を新潟市に提出する。

北区自治協議会提出の「要望書」に対する行政側の方針を質すために平成二十九年六月議会で質問をする。

（質問）

北区自治協議会の総意による「要望書」は非常に重いものと考えてるがいか。

（答弁）

福島潟は、人と自然環境が共存するラムサール条約登録にふさわしい水辺空間である。

ラムサール条約は「潟」の魅力を発信し将来につなげるための手法の一つ

であり「要望書」の提出を受け、より一層、条約の理念の啓発や登録に向けた機運醸成に努める。

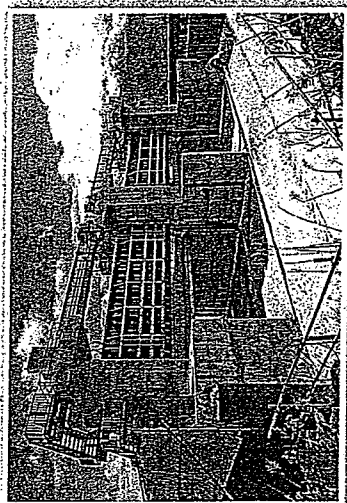
（経過）

新潟市議会でも「関係市と連携し地元や関係団体等から理解を得られるよう説明を行い、登録推進に取り組む」との市長答弁。

しかしながら、思いの違つ住民からの反対意見があり、その後、進展しないまま現在に至っている状況です。

そのような状況下において複数の住民の方から、福島潟の豊かな自然環境を「宝物」として守っていかなければならないのに、登録を諦めてしまったのかと指摘される機会が多くなり二回目の質問に立ち、その内容を令和元年十一月発行の市政報告で示してきました。

そんな中で二〇一八年から始められた水門工事が殆んど完成を迎えており、一筋の光が見えてきたのかと期待しているとこのです。



水門

（何故？）

田園地域と市街地の豊かな価値を循環させながら、都市全体が調和ある発展を遂げる「田園型環境都市」を目指して来た新潟市にとって、福島潟のラムサール条約湿地に向けての取り組みは国内初の「湿地自治体認証」都市として世界における認知度の向上に寄与するのではないかと。

自然環境の保全、賢明な利用推進を行ない、湿地としての質を高めながら、人的交流や経済的波及効果を図ることにより、地域の活性化にも一役買つていける。

日本は勿論、世界に誇れる素晴らしい環境の「潟」を造り上げ、新潟市の「宝物」にするために推進していくべきではないでしょうか。

（参考）

「ラムサール条約とは」

ラムサール条約とは、正式名称を「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」といい一九七一年にイランのラムサールで国際会議が行われたこととつけられた条約です。尚ラムサール条約は「湿地の保全」と「ワイズユース」（賢明な利用）をすすめるための条約です。

「ワイズユース」について

湿地には、水や食料の供給、洪水の緩和やレクリエーションの場の提供など、人々にさまざまな恵みをもたらす機能があります。この恵みを将来に渡って維持しながら私たちが上手に利用することを、ワイズユース（賢明な利用）といいます。

（後記）

発行 新潟市北区自治協議会
新潟市環境政策課
「ラムサール条約湿地」登録をめざす「福島潟」



福島潟景観

北方面隊消防出初式

令和八年一月十八日(日)、例年の冬としては珍しい晴間をぬって新瀨市消防団北方面隊出初式が開催されました。

地域住民の生命・身体・財産を守るため、火災をはじめ、あらゆる災害に対し、昼夜を分かたず、献身的に精励されておりますことに対して、心より敬意と感謝の意を表したいと思えます。

又この出初式は日々鍛錬と、研鑽を積んでこられた消防団員の皆さんの一大イベントです。

最初の式典では来賓の皆様からそれぞれ祝辞をいただき厳かなうちに式典が終了いたしました。

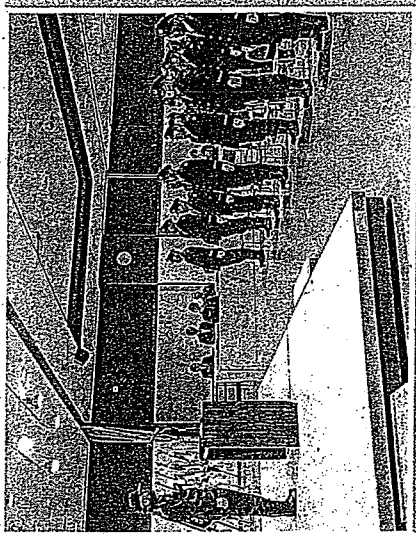
式典では、貢献著しい消防団員の皆様に中原市長からの表彰状が授与されました。内容は以下の通りです。

令和八年北方面隊市長表彰者

功・労・賞 十一名
 三十年以上勤続者 八名
 二十年以上勤続者 十三名
 十年以上勤続者 三十三名

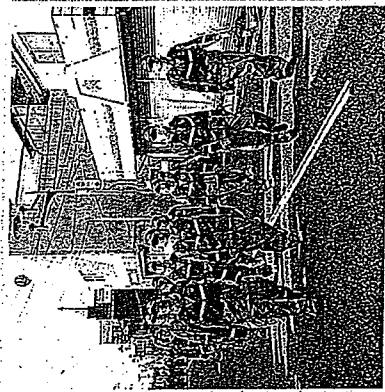
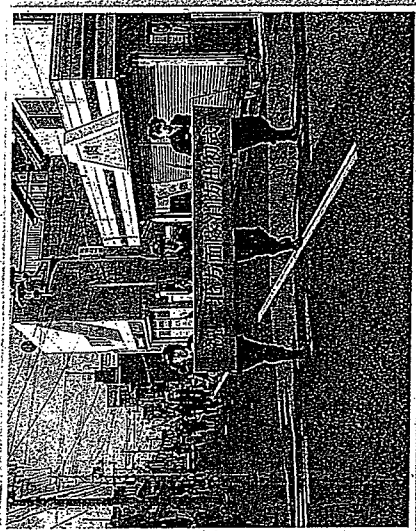
受賞された皆様おめでとうございます。式典後の分列行進は、例年とおり防震着も身に付けず規律正しく凜として行進する姿には心に熱いものが沸き起こってまいりました。

消防団員の皆様の地域と密着したきめ細やかな防災活動が、地域住民の防



災に対する意識の高まりに、つながっているものと思います。

今後とも、健康に留意され、市民生活の安心、安全の確保のため、一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



北区の課題

緊急時の避難所としての機能を兼ねそなえた住民の居場所づくりの早期実現。

高齢者・子育て世代・児童・子どもが一同に会するとこ。

今後、他の課題を含めて自治振興会、コミュニティー協議会、そして住民の皆様と協働で推し進めてまいります。

左記に浜松市の津波避難施設内容を掲載しましたので、ご覧下さい。

津波避難施設(浜松市参照)

～津波避難タワー～ (市内に9基)

《仕様》 舞阪町砂町

構造 鉄骨造

避難面積 約150㎡

収容人員 約150人 (1人/㎡)

高さ 施設高 10.5m

海抜 約12.6m

昇降方法 階段 2箇所

照明 太陽光発電LED照明

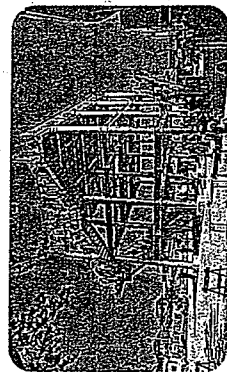
(人感センサー付)

土地 地 市民より無償借地

●津波避難マウンドのような広い敷地が確保できない市街地に対応できる。

●建設用地として、市民から無償借地、寄附により用地確保している。(現在5件)。

●日常の維持管理は、地元自治会が行う。



松浜自治振興会

令和七年度

国・県への要望会の実施報告

松浜自治振興会が例年通り、住民の安心、安全を守るための要望会を、昨年十一月二十五日(火)(国)阿賀野川河川事務所、十二月二日(火)(県)新潟港湾事務所(県)地域整備部に対して実施をいたしました。

そこには私も同行させていただきました。

又新潟市からも、令和八年度、県の施策予算編成(河川・海岸・砂防事業)に対して要望書を提出しております。

〈松浜海岸の飛砂防止対策の継続及び海岸浸食対策について〉

(阿賀野川河川事務所・新潟港湾事務所)

1 松浜海岸は住宅との距離が近く、海からの強風により、松浜海岸沿線の住宅の多くが飛砂による被害を受けており、また、絶滅危惧種のオオモノサシトンボが生息している市民文化遺産「ひょうたん池」も飛砂による埋没が懸念されています。

飛砂防止対策として、毎年、貴職から支援等をいただきながら、新潟市、地域住民のほか松浜小学校の児童の協力を得て協働でアキグミの植栽に取り組んでいますが、大きく成長し低木となって効果が現れるまでには長い年月がかかります。

つきましては、住宅や「ひょうたん池」への飛砂の影響が緩和されるよう、アキグミ植栽事業を継続していくとともに、植生マットの拡大など即効性が期待できる対策や防砂ネットの設置により維持管理を図るなど、短期的・長期的の両面で飛砂防止対策を講じてくださいますようお願いいたします。

2 阿賀野川と新井郷川分水路の間の松浜海岸は波打ち際の後退が著しく、砂丘が失われていく現状にあります。日本海の強風と荒波による浸食は地域住民の生活に与える影響も大きく、海岸背後地への被害も懸念され、多くの住民から海岸浸食を心配する声が上がっています。

阿賀野川の掘削工事により生じた

砂の養浜をしていただきましたが、荒波による浸食の解消には至っておりません。

つきましては、海岸区域と河川区域が接する困難な場所であると承知していますが、住民が住み慣れた地域で安全、安心して暮らせるよう、引き続き海岸浸食の防止対策を実施くださいますようお願いいたします。又、港湾事務所におかれましては国土保全と住民の安全を確保する上からも、国と連携した抜本的な対策を強く要望するとともに、海岸浸食の防止対策及び海岸保全施設の定期的な点検、住民が理解しやすい情報の提供をお願いいたします。

〈新井郷川分水路左岸のニセアカシア伐採及び堤防の改修について〉

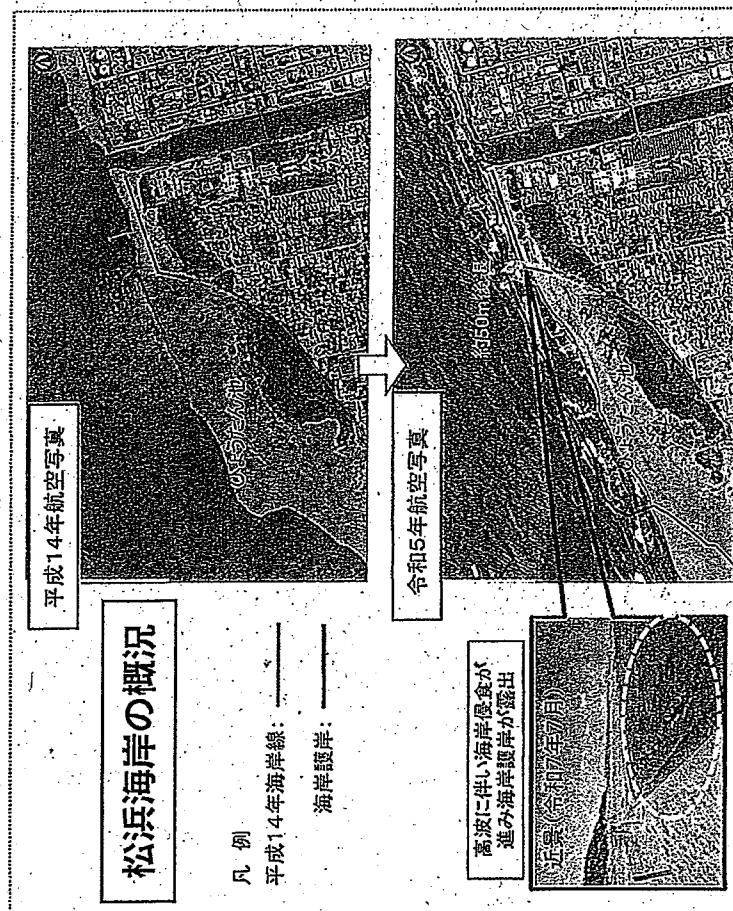
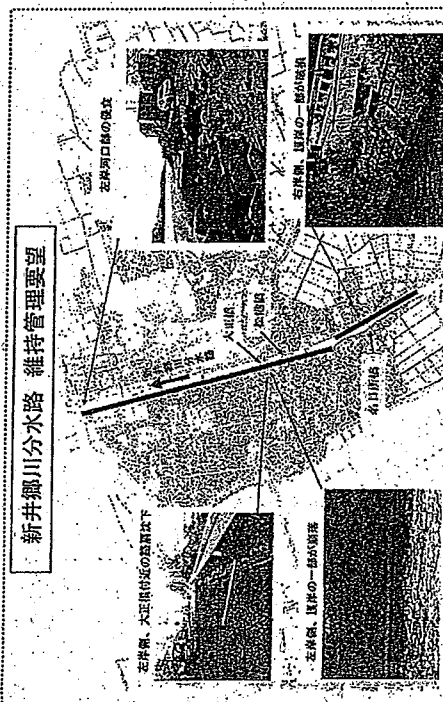
(地域整備部)

1 大正橋から松港橋までの間は、通学路となっており、朝の通勤車両も多い状況です。ニセアカシアが繁茂すると、大正橋からくる車両から歩行者が見えにくい状況となります。

今年はニセアカシアにアメシロが大量発生し、近隣の住宅に侵入する

など住民から苦情が寄せられ、一部の区間については伐採をしていただきました。

つきましては、新井郷川分水路左岸の松港橋から河口までの間のニセアカシアについて、定期的な伐採をお願いいたします。



令和8年度、県の施策、予算編成に対する
河川・海岸・砂防事業への新潟市要望書から

また、増水時の川の流れの妨げや
景観上の観点から川面近くのニセア
カシアの伐採についても継続的な対
応をお願いいたします。

2 河口付近の左岸堤防は冬季間の北
西の強い風浪で海から波が押し寄
せ、河川の水位の上昇に伴い、護岸
を超えて道路に冠水する場合があります。

これにより、護岸の石積みが年々
浸食され、大正橋付近で一部崩落し
ている危険箇所があります。また、
特殊堤防（角落し）からの道路冠水
や住宅浸水についても住民から心配
の聲が上がっています。

三菱ガス化学ネクスト付近の護岸
嵩上げ工事は完了しましたが、河口
部周辺が工事範囲から除外されてい
ます。

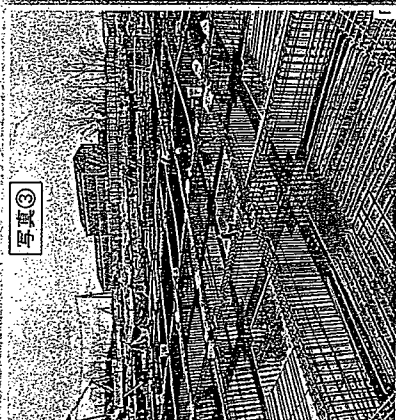
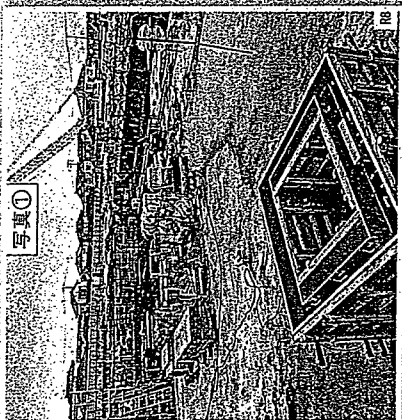
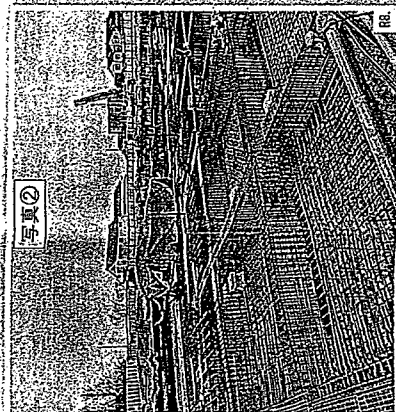
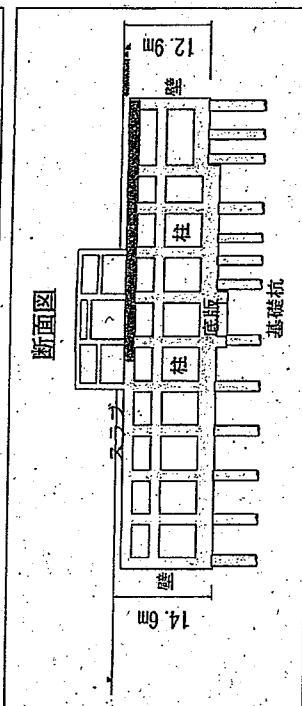
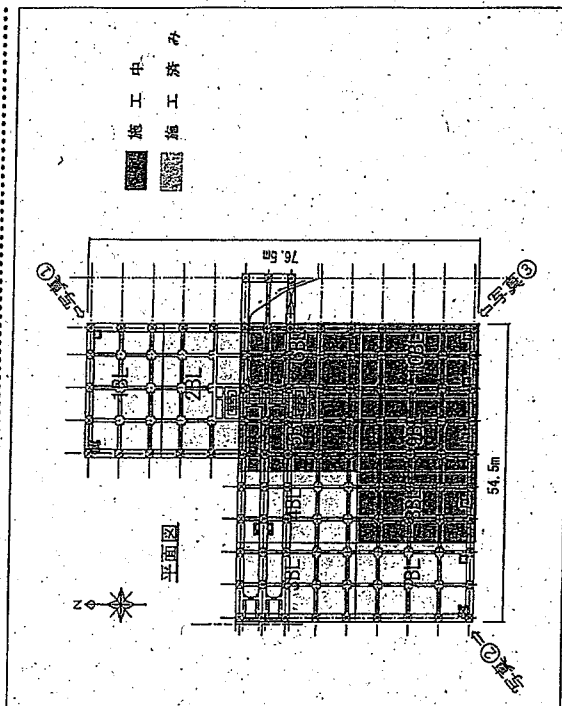
つきましては、周辺住民が安心し
て暮らせるよう河川管理や河口部ま
での一体的かつ抜本的な堤防の改修
をお願いします。

松浜地区雨水対策

近年の度重なる集中豪雨から住民の
安心、安全を守るための雨水対策とし
てとりあえず貯留管理設工事を完成さ
せ、少しでも冠水の軽減を図り、そ
の後、雨水ポンプ場調整池工事を始め
て現在に至っております。

令和四年から基礎、掘削工事を開始
し、令和六年半ばから躯体（底版・
壁・柱）の施工を行ない、令和七年に
終わることができました。そして同じ
くその年の後半からは、並行してスラ
ブ（調整池の上部）を施工し令和八年
半ばには調整池の工事を終了させ、更
に令和八年三月以降からは前処理棟
（調整池の管理棟）建築工事へ引き継
ぐための附帯工事を開始する予定です。
四年の月日を費やしましたが一応調整
池部分の工事は終了することです。

一方でポンプ場の施工準備と併行し
て調整池の貯留水を排水するための方
策として令和九年度の雨期前迄にはポ
ンプの設置を終え、とりあえず既存の
排水管に流出させることにより、冠水
の軽減ができる予定になっております。
今後の整備概要は別紙のとおりです。



皆様のご意見・ご要望を
お聴かせ下さい。
責任を持って
対応いたします。



新潟市議会議員
皆川 英二

連絡先
新潟市北区新元島町3953-10
☎ 258-2029
FAX 258-6090

（本誌は政務活動費の一部を充当しています。）

支出伝票一覧表

会派名	翔 政 会			皆川 英二	
支出年度	令和7年度	支出項目	資料購入費	No. 1	
整理番号	支出年月日	支出内容		支出金額	備考
1	R7.4.25	公明新聞		2,270 円	第1紙日本経済新聞
2	R7.4.28	新潟日報統合版		4,000 円	第1紙日本経済新聞
3	R7.5.23	新潟日報統合版		4,000 円	第1紙日本経済新聞
4	R7.5.26	公明新聞		2,270 円	第1紙日本経済新聞
5	R7.6.27	新潟日報統合版		4,000 円	第1紙日本経済新聞
6	R7.6.27	公明新聞		2,270 円	第1紙日本経済新聞
7	R7.7.25	公明新聞		2,270 円	第1紙日本経済新聞
8	R7.7.28	新潟日報統合版		4,000 円	第1紙日本経済新聞
9	R7.8.26	公明新聞		2,270 円	第1紙日本経済新聞
10	R7.8.27	新潟日報統合版		4,000 円	第1紙日本経済新聞
11	R7.9.17	書籍代		1,650 円	仏像とともに消えた弟
12	R7.9.26	公明新聞		2,270 円	第1紙日本経済新聞
13	R7.9.29	新潟日報統合版		4,000 円	第1紙日本経済新聞
14	R7.10.27	公明新聞		2,270 円	第1紙日本経済新聞
15	R7.10.27	新潟日報統合版		4,000 円	第1紙日本経済新聞
16	R7.11.25	公明新聞		2,270 円	第1紙日本経済新聞
17	R7.11.27	新潟日報統合版		4,000 円	第1紙日本経済新聞
18	R7.12.25	公明新聞		2,270 円	第1紙日本経済新聞
19	R7.12.29	新潟日報統合版		4,000 円	第1紙日本経済新聞
20	R8.1.26	公明新聞		2,270 円	第1紙日本経済新聞
小 計				60,350 円	

※ 支出項目ごとに支出年月日順にまとめ、表紙として提出してください。

支出伝票一覧表

会派名	翔 政 会		議員名	皆川 英二	
支出年度	令和7年度	支出項目	資料購入費	No. 2	
整理番号	支出年月日	支出内容		支出金額	備考
21	R8.1.27	新潟日報統合版		4,000 円	第1紙日本経済新聞
22	R8.2.25	公明新聞		2,270 円	第1紙日本経済新聞
23	R8.2.27	新潟日報統合版		4,000 円	第1紙日本経済新聞
24	R8.3.25	公明新聞		2,270 円	第1紙日本経済新聞
25	R8.3.27	新潟日報統合版		4,000 円	第1紙日本経済新聞
26				円	
27				円	
28				円	
29				円	
30				円	
31				円	
32				円	
33				円	
34				円	
35				円	
36				円	
37				円	
38				円	
39				円	
小計				16,540 円	
計				76,890 円	

※ 支出項目ごとに支出年月日順にまとめ、表紙として提出してください。

支出伝票

会 派 名	翔政会		議 員 名	皆川 英二	
支出年度	令和7年度	整理番号 (項目別)	/		
支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費				
実施年月日	令和 7 年 4 月 1 日 ~ 令和 7 年 4 月 30 日				
支出年月日	令和 7 年 4 月 25 日				
支出金額	2,270 円				
支出先	堀 富明				
使途内容	公明新聞				
備 考	第1紙 日本経済新聞				

領収書別

新聞購読料 領収証		領収金額 ¥2,270	
皆川 英二 様		領収日 4月25日	
ご購入ありがとうございます。 下記金額を正に領収いたしました。 2025 年 4 月分(4/01~4/30)		領収金額 ¥2,270	
品 名	延価税別	部 数	金 額
公明新聞※	2,270	1	2,270
(10%対象)		消費税	0円
(-8%対象)		消費税	188円
※は軽減税率対象品目です。			
販売店 堀 富明 登録番号: 12810632728007 住 所 新潟市北区木崎2-8-31-2-9 TEL 025-388-6214 FAX 025-388-6241		お申込No. [印]	

※領収書は、領収書と領収金額を記載してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

領収書貼付用紙

区域 御客様コード

領収証 (2025年 04月分)

新元島町3953-10

皆川 英二 様

(領収日)

(領収番号)

(スタッフ)

2025/04/28

000002

品名	部数	金額
日本経済新聞	1	※ 4,800

合計金額
4,800円
8%対象 4,800円 (内消費税 355)
10%対象 円 (内消費税)

登録番号 T9110002005069

※は軽減税率対象

上記正に領収いたしました。

新潟日報社

新潟市北区松浜東町2-11-58 Tel:025-278-7676

NIC 松浜

区域 御客様コード

領収証 (2025年 05月分)

新元島町3953-10

皆川 英二 様

(領収日)

(領収番号)

(スタッフ)

2025/05/23

000002

品名	部数	金額
日本経済新聞	1	※ 4,800

合計金額
4,800円
8%対象 4,800円 (内消費税 355)
10%対象 円 (内消費税)

登録番号 T9110002005069

※は軽減税率対象

上記正に領収いたしました。

新潟日報社

新潟市北区松浜東町2-11-58 Tel:025-278-7676

NIC 松浜

区域 御客様コード

領収証 (2025年 06月分)

新元島町3953-10

皆川 英二 様

(領収日)

(領収番号)

(スタッフ)

2025/06/27

000002

品名	部数	金額
日本経済新聞	1	※ 4,800

合計金額
4,800円
8%対象 4,800円 (内消費税 355)
10%対象 円 (内消費税)

登録番号 T9110002005069

※は軽減税率対象

上記正に領収いたしました。

新潟日報社

新潟市北区松浜東町2-11-58 Tel:025-278-7676

NIC 松浜

※重ならないように

領収書貼付用紙

区域 御客様コード		領 収 証 (2025年 07月分)	
新元島町3953-10			
皆川 英二 様			
(領 収 日)	(領収番号)	(スタッフ)	
2025/07/28	000002		
銘 柄 名	部数	金 額	合 計 金 額
日本経済新聞	1	※ 4,800	4,800円
			8%対象 4,800円 (内消費税 355)
			10%対象 円 (内消費税)
登録番号 T9110002005069 ※は軽減税率対象			上記正に領収いたしました。
新潟市北区松浜東町2-11-58 TEL:025-278-7676			新潟日報社 NIC 松浜

区域 御客様コード		領 収 証 (2025年 08月分)	
新元島町3953-10			
皆川 英二 様			
(領 収 日)	(領収番号)	(スタッフ)	
2025/08/27	000002		
銘 柄 名	部数	金 額	合 計 金 額
日本経済新聞	1	※ 4,800	4,800円
			8%対象 4,800円 (内消費税 355)
			10%対象 円 (内消費税)
登録番号 T9110002005069 ※は軽減税率対象			上記正に領収いたしました。
新潟市北区松浜東町2-11-58 TEL:025-278-7676			新潟日報社 NIC 松浜

区域 御客様コード		領 収 証 (2025年 09月分)	
新元島町3953-10			
皆川 英二 様			
(領 収 日)	(領収番号)	(スタッフ)	
2025/09/29	000002		
銘 柄 名	部数	金 額	合 計 金 額
日本経済新聞	1	※ 4,800	4,800円
			8%対象 4,800円 (内消費税 355)
			10%対象 円 (内消費税)
登録番号 T9110002005069 ※は軽減税率対象			上記正に領収いたしました。
新潟市北区松浜東町2-11-58 TEL:025-278-7676			新潟日報社 NIC 松浜

※重ならないように貼付してください。

領収書貼付用紙

区域	御客様コード	領 収 証 (2025年 10月分)	
新元島町3953-10			
皆川 英二 様			
(領収日)	(領収番号)	(スタッフ)	
2025/10/27	000002		
銘 柄 名	部数	金 額	合 計 金 額
日本経済新聞	1	※ 4,800	4,800円
			8%対象 4,800円 (内消費税 355)
			10%対象 円 (内消費税)
登録番号 T9110002005069 ※は軽減税率対象			上記正に領収いたしました。
新潟市北区松浜東町2-11-58 Tel:025-278-7676			新潟日報社 NIC 松浜

区域	御客様コード	領 収 証 (2025年 11月分)	
新元島町3953-10			
皆川 英二 様			
(領収日)	(領収番号)	(スタッフ)	
2025/11/27	000002		
銘 柄 名	部数	金 額	合 計 金 額
日本経済新聞	1	※ 4,800	4,800円
			8%対象 4,800円 (内消費税 355)
			10%対象 円 (内消費税)
登録番号 T9110002005069 ※は軽減税率対象			上記正に領収いたしました。
新潟市北区松浜東町2-11-58 Tel:025-278-7676			新潟日報社 NIC 松浜

区域	御客様コード	領 収 証 (2025年 12月分)	
新元島町3953-10			
皆川 英二 様			
(領収日)	(領収番号)	(スタッフ)	
2025/12/29	000002		
銘 柄 名	部数	金 額	合 計 金 額
日本経済新聞	1	※ 4,800	4,800円
			8%対象 4,800円 (内消費税 355)
			10%対象 円 (内消費税)
登録番号 T9110002005069 ※は軽減税率対象			上記正に領収いたしました。
新潟市北区松浜東町2-11-58 Tel:025-278-7676			新潟日報社 NIC 松浜

※重ならないように貼付してください。

領収書貼付用紙

区域 御客様コード		領 収 証 (2026年 01月分)	
新元島町3953-10			
皆川 英二 様			
(領収日)	(領収番号)	(スタッフ)	
2026/01/27	000002		
銘 柄 名	部数	金 額	合 計 金 額
日本経済新聞	1	※ 4,800	4,800円
			8 %対象 4,800円 (内消費税 355)
			10 %対象 円 (内消費税)
登録番号 T9110002005069 ※は軽減税率対象			上記正に領収いたしました。
新潟市北区松浜東町2-11-58 Tel:025-278-7676			新潟県日報社 NIC 松浜

区域 御客様コード		領 収 証 (2026年 02月分)	
新元島町3953-10			
皆川 英二 様			
(領収日)	(領収番号)	(スタッフ)	
2026/02/27	000002		
銘 柄 名	部数	金 額	合 計 金 額
日本経済新聞	1	※ 4,800	4,800円
			8 %対象 4,800円 (内消費税 355)
			10 %対象 円 (内消費税)
登録番号 T9110002005069 ※は軽減税率対象			上記正に領収いたしました。
新潟市北区松浜東町2-11-58 Tel:025-278-7676			新潟県日報社 NIC 松浜

区域 御客様コード		領 収 証 (2026年 03月分)	
新元島町3953-10			
皆川 英二 様			
(領収日)	(領収番号)	(スタッフ)	
2026/03/27	000002		
銘 柄 名	部数	金 額	合 計 金 額
日本経済新聞	1	※ 4,800	4,800円
			8 %対象 4,800円 (内消費税 355)
			10 %対象 円 (内消費税)
登録番号 T9110002005069 ※は軽減税率対象			上記正に領収いたしました。
新潟市北区松浜東町2-11-58 Tel:025-278-7676			新潟県日報社 NIC 松浜

※重ならないように貼付してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会		議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	2	
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広報費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費			
実施年月日	令和 7 年 4 月 1 日 ~ 令和 7 年 4 月 30 日			
支出年月日	令和 7 年 4 月 28 日			
支出金額	4,000 円			
支 出 先	(株)新潟日報サポート NIC 松浜			
使 途 内 容	新潟日報 統合版			
備 考	第1紙 日本経済新聞			

領収書貼付欄

区域 御客様コード		領 収 証		(2025年 04 月分)
新元島町3953-10				
皆川 英二 様				
(領 収 日)	(領収番号)	(スタッフ)		
2025/04/28	000001			
品 名	部数	金 額		
新潟日報統合版	1	※ 4,000		
登録番号 T9110002005069		※は軽減税率対象		合計金額
				4,000 円
				8 %対象 4,000 円 (内消費税 296)
				10 %対象 円 (内消費税)
上記正に領収いたしました。				
新潟日報サポート		NIC 松浜		
新潟市北区松浜東町2-11-58 Tel:025-278-7676				

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	3
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費		
実施年月日	令和 7 年 5 月 1 日 ~ 令和 7 年 5 月 31 日		
支出年月日	令和 7 年 5 月 20 日		
支出金額	4,000 円		
支 出 先	(株)新潟日報サポート NIC 松浜		
使 途 内 容	新潟日報統合版		
備 考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

区域 御客様コード 新元島町3953-10		領 収 証 (2025年 05月分)	
皆川 英二 様			
(領 収 日)	(領収番号)	(スタッフ)	
2025/05/23	000001		
銘 柄 名	部 数	金 額	
新潟日報統合版	1	※ 4,000	
登録番号 T9110002005069 ※は軽減税率対象		合計金額 4,000 円 8%対象 4,000 円 (内消費税 296 円) 10%対象 円 (内消費税 円)	
新潟市北区松浜東町2-11-58 Tel:025-278-7676		上記正に領収いたしました。 新潟日報サポート NIC 松浜	

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	4
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費		
実施年月日	令和 7 年 5 月 1 日 ~ 令和 7 年 5 月 26 日		
支出年月日	令和 7 年 5 月 26 日		
支 出 金 額	2,270 円		
支 出 先	堀 富 明		
使 途 内 容	公明新聞		
備 考	第1紙 日本経済新聞		

領収書

新聞購読料 領 収 証

皆川 英二 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。

2025 年 5 月 分 (5/01~5/31) 領収日 令和7年5月26日

領収金額 ￥2,270

品 名	定価(税別)	部 数	金 額

その他購読料等 領 収 証

品 名	定価(税別)	部 数	金 額
公明新聞※	2,270	1	2,270

(10%対象) 消費税 0円
(8%対象) 消費税 2,270円

※は軽減税率対象品目です。

販売店 堀 富明
登録番号: T2810632728007
住 所 新潟市北区大崎 2-8-3 1-2-9
TEL 025-388-6214 FAX 025-388-6241

お申込No.



※領収

備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会		議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	5	
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費			
実施年月日	令和 7 年 6 月 1 日 ~ 令和 7 年 6 月 30 日			
支出年月日	令和 7 年 6 月 27 日			
支出金額	4,000 円			
支 出 先	(株)新潟日報サポート NIC 松浜			
使 途 内 容	新潟日報 統合版			
備 考	第1紙 日本経済新聞			

領収書貼付欄

区域 御客様コード 新元島町3953-10	領 収 証 (2025年 06月分)	
皆川 英二 様		
(領 収 日) 2025/06/27	(領収番号) 000001	(スタッフ)
品 名 新潟日報統合版	部数 1	金 額 ※ 4,000
登録番号 T9110002005069 ※は軽減税率対象		合 計 金 額 4,000円 8%対象 4,000円 (内消費税 296) 10%対象 円 (内消費税)
新潟市北区松浜東町2-11-58 Tel:025-278-7676		上記正に領収いたしました。 新潟日報サポート NIC 松浜

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会 派 名	翔政会		議 員 名	皆川 英二
支出年度	令和7年度	整理番号 (項目別)	6	
支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費			
実施年月日	令和 7 年 6 月 1 日 ~ 令和 7 年 6 月 20 日			
支出年月日	令和 7 年 6 月 27 日			
支出金額	22,270 円			
支出先	堀 富明			
使 途 内 容	公明新聞			
備 考	第1紙 日本経済新聞			

領収書貼

新聞購読料 領 収 証

皆川 英二 様

ご購読ありがとうございます。

下記金額を正に領収いたしました。

2025 年 6 月分(6/01~6/30) 領収日 6 月 27 日

領収金額 ¥2,270

品 名	定価(税込)	部 数	金 額

その他購読料等 領 収 証

品 名	定価(税込)	部 数	金 額
公明新聞※	2,270	1	2,270

(10%対象)	0円	消費税	0円
(8%対象)	2,270円	消費税	188円

※は軽減税率対象品目です。

販売店 堀 富明
 登録番号 T2810632728007
 住 所 新潟市北区木崎 2-8-31-29
 TEL 025-388-6214 FAX 025-388-6241

お申込No.

※領収書

備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支出年度	令和7年度	整理番号 (項目別)	7
支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費		
実施年月日	令和 7 年 7 月 1 日 ~ 令和 7 年 7 月 01 日		
支出年月日	令和 7 年 7 月 25 日		
支出金額	2,270 円		
支出先	堀 富明		
使 途 内 容	公明新聞		
備 考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼

新聞購読料 領 収 証		領 収 金 額	
新聞購読料 領 収 証 皆川 英二 様 ご購読ありがとうございます。 下記金額を正に領収いたしました。 2025年7月分(7/01~7/31) 領収日 7月25日 領収金額 ¥2,270		品 名 定価(税別) 部 数 金 額 公明新聞※ 2,270 1 2,270	
販売店 堀 富明 登録番号 T2810632728007 住 所 新潟市北区木崎2-8-3-1-2-9 TEL 025-388-6214 FAX 025-388-6247 お申込No.		(10%対象) 消費税 0円 (8%対象) 消費税 188円 ※は軽減税率対象品目です。	

※領収書は必ず内容を正確に記入し、領収書を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会		議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	8	
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費			
実施年月日	令和 7 年 7 月 1 日 ~ 令和 7 年 7 月 21 日			
支出年月日	令和 7 年 7 月 28 日			
支出金額	4,000 円			
支 出 先	(株)新潟日報サポート NIC 松浜			
使 途 内 容	新潟日報統合版			
備 考	第1紙 日本経済新聞			

領収書貼付欄

区域 御客席コート		領 収 証 (2025年 07月分)	
新元島町3953-10			
皆川 英二 様			
(領 収 日)	(領収番号)	(スタッフ)	
2025/07/28	000001		
銘 柄 名	部 数	金 額	合 計 金 額
新潟日報統合版	1	※ 4,000	4,000円
登録番号 T9110002005069		※は軽減税率対象	
新潟市北区松浜東町2-11-58 Tel:025-278-7676		上記正に領収いたしました。	
		新潟日報サポート NIC 松浜	

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会 派 名	翔政会		議 員 名	皆川 英二
支出年度	令和7年度	整理番号 (項目別)	9	
支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費			
実施年月日	令和 7 年 8 月 1 日 ~ 令和 7 年 8 月 31 日			
支出年月日	令和 7 年 8 月 26 日			
支出金額	22,700 円			
支 出 先	堀 富明			
使 途 内 容	公明新聞			
備 考	第1紙 日本経済新聞			

領収書

新聞購読料 領 収 証

皆川 英二 様

ご購読ありがとうございます。

下記金額を正に領収いたしました。

2025 年 8 月分(8/01~8/31) 領収日 8 月 26 日

領収金額 ￥2,270

品 名	定価税別	部 数	金 額

その他購読料等 領 収 証

品 名	定価税別	部 数	金 額
公明新聞※	2,270	1	2,270

(10%対象 0円) 消費税 0円
(8%対象 2,270円) 消費税 168円

※は軽減税率対象品目です。

販売店 堀 富明
登録番号: T2810632728007
住 所 新潟市北区木崎2-3-1-2-9
TEL 025-388-6214 FAX 025-388-6241

お申込No.



※領収書及び内容等誤りがある場合は、速に訂正してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会		議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	10	
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費			
実施年月日	令和 7 年 8 月 1 日 ~ 令和 7 年 8 月 27 日			
支出年月日	令和 7 年 8 月 27 日			
支 出 金 額	4,000 円			
支 出 先	(株)新潟日報サポート NIC 松浜			
使 途 内 容	新潟日報統合版			
備 考	第1紙 日本経済新聞			

領収書貼付欄

区域 御客様コード		領 収 証 (2025年 08月分)	
新元島町3953-10			
皆川 英二 様			
(領 収 日)	(領収番号)	(スタッフ)	
2025/08/27	000001		
銘 柄 名	部 数	金 額	合 計 金 額
新潟日報統合版	1	※ 4,000	4,000円
登録番号 T9110002005069		※は軽減税率対象	
新潟市北区松浜東町2-11-58 Tel:025-278-7676		上記正に領収いたしました。	
		8%対象 4,000円 (内消費税 296) 10%対象 円 (内消費税)	
		(株)新潟日報サポート NIC 松浜	

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	11
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費		
実施年月日	令和 7 年 9 月 17 日		
支出年月日	令和 7 年 9 月 17 日		
支 出 金 額	1,650 円		
支 出 先	大澤孝司さんと再会を果たす会		
使 途 内 容	書籍代		
備 考	仏像と仏に消えた弟		

領収書貼付欄

領 収 書		NO.
皆川英二 様		
金 ¥1650-		
但し、再会を果たす会事務局としてありがとうございました。		
令和 17 年 9 月 17 日		
	大澤孝司さんと再会を果たす会	振替印
	会長 平岡 一郎	

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支出年度	令和7年度	整理番号 (項目別)	12
支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費		
実施年月日	令和 7 年 9 月 1 日 ~ 令和 7 年 9 月 30 日		
支出年月日	令和 7 年 9 月 26 日		
支出金額	2,270 円		
支出先	堀 富明		
使 途 内 容	公明新聞		
備 考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼

新聞購読料 領 収 証

皆川 英二 様

ご購読ありがとうございます。

下記金額を正に領収いたしました。

2025 年 9 月分 (9/01~9/30) 領収日 9 月 26 日

領収金額 ¥2,270

品 名	定価(税込)	部 数	金 額
公明新聞※	2,270	1	2,270

その他購読料等 領 収 証

品 名	定価(税込)	部 数	金 額
公明新聞※	2,270	1	2,270

 (10%対象) 消費税 0円
 (18%対象) 消費税 2,270円
 ※は軽減税率対象品目です。

 販売店 堀 富明
 登録番号 T2810632728007
 住 所 新潟市北区木崎2-8-31-2-9
 TEL 025-388-6214 FAX 025-388-6241
 お申込No


※領収書

備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	13
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費		
実施年月日	令和 7 年 9 月 1 日 ~ 令和 7 年 9 月 30 日		
支出年月日	令和 7 年 9 月 29 日		
支出金額	4,000 円		
支 出 先	(株)新潟日報サポート NIC 松浜		
使 途 内 容	新潟日報 統合版		
備 考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

区域 御客様コード 新元島町3953-10	領 収 証 (2025年 09月分)	
皆川 英二 様		
(領 収 日) 2025/09/29	(領収番号) 000001	(スタッフ) [印]
銘 柄 名 新潟日報統合版	部 数 1	金 額 ※ 4,000
登録番号 T9110002005069 ※は軽減税率対象		合 計 金 額 4,000円 8%対象 4,000円 (内消費税 296) 10%対象 円 (内消費税 円)
上記正に領収いたしました。		新潟日報サポート NIC 松浜 [印]
新潟市北区松浜東町2-11-58 Tel:025-278-7676		

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会		議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	14	
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費			
実施年月日	令和 7 年 10 月 1 日 ~ 令和 7 年 10 月 31 日			
支出年月日	令和 7 年 10 月 27 日			
支 出 金 額	2,270 円			
支 出 先	堀 富 明			
使 途 内 容	公明新聞			
備 考	第1紙 日本経済新聞			

領収書別

新聞購読料 領 収 証

皆川 英二 様

ご購読ありがとうございます。

下記金額を正に領収いたしました。

2025 年 10 月 分 (10/01~10/31) 領収日 10月27日

領収金額 ￥2,270

品 名	定価税込	部 数	金 額

その他購読料等 領 収 証

品 名	定価税込	部 数	金 額
公明新聞※	2,270	1	2,270

(10%対象)	消費税	0円
(8%対象)	消費税	168円

※は低減税率対象品目です。

販売店 堀 富 明
登録番号: T2810632728007
住 所 新潟市北区木崎 2-8-31-29
TEL 025-388-6214 FAX 025-388-6241

お申込No.

※領収書は必ず正しい金額を記載してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	15
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費		
実施年月日	令和 7 年 10 月 1 日 ~ 令和 7 年 10 月 27 日		
支出年月日	令和 7 年 10 月 27 日		
支出金額	4,000 円		
支 出 先	(株)新潟日報サポート NIC 松浜		
使 途 内 容	新潟日報統合版		
備 考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

区域 北御客様コード		領 収 証 (2025年 10月分)	
新元島町3953-10			
皆川 英二 様			
(領 収 日)	(領収番号)	(スタッフ)	
2025/10/27	000001		
銘 柄 名	部 数	金 額	合 計 金 額
新潟日報統合版	1	※ 4,000	4,000 円
		8 %対象 4,000円 (内消費税 296 円)	
		10 %対象 (内消費税 円)	
登録番号 T9110002005069		※は軽減税率対象	
新潟市北区松浜東町2-11-58 Tel.025-278-7676		上記正に領収いたしました。 新潟日報サポート NIC 松浜	

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会 派 名	翔政会		議 員 名	皆川 英二
支出年度	令和7年度	整理番号 (項目別)	16	
支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費			
実施年月日	令和 7 年 11 月 1 日 ~ 令和 7 年 11 月 30 日			
支出年月日	令和 7 年 11 月 25 日			
支出金額	22,270 円			
支出先	堀 富明			
使 途 内 容	公明新聞			
備 考	第1紙 日本経済新聞			

領収書

新聞購読料 領 収 証

皆川 英二 様

ご購読ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。
2025 年 11 月分 (11/01~11/30) 領収日 11/月 25 日

領収金額 ￥2,270

品 名	定価(税込)	部 数	金 額

品 名	定価(税込)	部 数	金 額
公明新聞※	2,270	1	2,270

消費税 0円
消費税 168円

※は軽減税率対象品目です。

販売店 堀 富明
登録番号 T2810632728007
住 所 新潟市北区木崎 2-3-1-2-9
TEL 025-388-6214 FAX 025-388-6241
お申込No. [Redacted]

※領収書

備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	17
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費		
実施年月日	令和 7 年 11 月 1 日 ~ 令和 7 年 11 月 30 日		
支出年月日	令和 7 年 11 月 27 日		
支 出 金 額	4,000 円		
支 出 先	(株)新潟日報サポート NIC 松浜		
使 途 内 容	新潟日報統合版		
備 考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

区域 御客様コード		領 収 証 (2025年 11月分)	
新元島町3953-10			
皆川 英二 様			
(領 収 日)	(領収番号)	(スタッフ)	
2025/11/27	000001		
品 名	部数	金 額	
新潟日報統合版	1	※ 4,000	
登録番号 T9110002005069 ※は軽減税率対象			合計金額 4,000円
			8%対象 4,000円 (内消費税 296)
			10%対象 円 (内消費税)
上記正に領収いたしました。			
新潟市北区松浜東町2-11-58 Tel:025-278-7676			新潟日報サポート NIC 松浜 領収

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支出年度	令和7年度	整理番号 (項目別)	18
支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費		
実施年月日	令和 7 年 12 月 1 日 ~ 令和 7 年 12 月 21 日		
支出年月日	令和 7 年 12 月 25 日		
支出金額	2,270 円		
支 出 先	堀 富 明		
使 途 内 容	公明新聞		
備 考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼

新聞購読料 領 収 証

皆川 英二 様

ご購読ありがとうございます。

下記金額を正に領収いたしました。

2025 年 12 月 分 (12/01~12/31) 領収日 / 25 日

領収金額 ¥2,270

品 名	定価(税込)	部 数	金 額

その他購読料等 領 収 証

品 名	定価(税込)	部 数	金 額
公明新聞※	2,270	1	2,270

 (10%対象) 消費税 0円
 (8%対象) 消費税 2,270円 消費税 168円

※は軽減税率対象品目です。

 販売店 堀 富明
 登録番号: T2810632728007
 住 所 新潟市北区大崎 2-8-3 1-2-9
 TEL 025-388-6214 FAX 025-388-6241

お申込み

※領収書及び内容を確認する資料を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会		議 員 名	皆川 英二	
支出年度	令和7年度	整理番号 (項目別)	19		
支出項目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費				
実施年月日	令和 7 年 12 月 1 日 ~ 令和 7 年 12 月 29 日				
支出年月日	令和 7 年 12 月 29 日				
支出金額	4,000 円				
支出先	(株)新潟日報サポート NIC 松浜				
使途内容	新潟日報統合版				
備 考	第1紙 日本経済新聞				

領収書貼付欄

区域 | 御客様コード
新元島町3953-10

領 収 証 (2025年 12月分)

皆川 英二 様

(領収日)	(領収番号)	(スタッフ)
2025/12/29	000001	

銘 柄 名	部数	金 額
新潟日報統合版	1	※ 4,000

合 計 金 額

4,000円

8%対象 4,000円
(内消費税 296円)

10%対象
(内消費税)

登録番号 T9110002005069 ※は軽減税率対象

上記正に領収いたしました。

新潟日報サポート
NIC 松浜

新潟市北区松浜東町2-11-58 TEL:025-278-7676

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	20
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費		
実施年月日	令和 8 年 / 月 / 日 ~ 令和 8 年 / 月 2 / 日		
支出年月日	令和 8 年 / 月 26 日		
支 出 金 額	2,270 円		
支 出 先	堀 富 明		
使 途 内 容	公明新聞		
備 考	第1紙 日本経済新聞		

領収書

新聞購読料 領 収 証		領 収 金 額	
皆川 英二 様	2026年1月分(1/01~1/31)	領 収 日	2026年1月26日
ご購入ありがとうございます。 下記金額を正に領収いたしました。		¥2,270	
品 名	定価税別	部 数	金 額
公明新聞※	2,270	1	2,270
その他購読料等 領 収 証		領 収 金 額	
品 名	定価税別	部 数	金 額
公明新聞※	2,270	1	2,270
※は軽減税率対象品目です。		消費税率 10% 消費税 0円 消費税率 8% 消費税 0円 消費税率 10% 消費税 188円	
販売店	堀 富 明	登録番号	T2810632728007
住 所	新潟市北区水崎2-8-31-29	TEL	025-388-6214
FAX	025-388-6241	お申込No.	

※領収書及び内訳を請求書と併せて提出してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	21
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費		
実施年月日	令和 8 年 1 月 1 日 ~ 令和 8 年 1 月 27 日		
支出年月日	令和 8 年 1 月 27 日		
支出金額	4,000 円		
支 出 先	(株)新潟日報サポート NIC 松浜		
使 途 内 容	新潟日報統合版		
備 考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

区域	御客様コード	領 収 証	(2026年 01月分)
新元島町3953-10		皆川 英二 様	
(領 収 日)	(領収番号)	(スタッフ)	
2026/01/27	000001		
品 名	部 数	金 額	合 計 金 額
新潟日報統合版	1	※ 4,000	4,000 円
			8 %対象 4,000 円 (内消費税 296)
			10 %対象 円 (内消費税)
登録番号 T9110002005069 ※は軽減税率対象			上記正に領収いたしました。
新潟市北区松浜東町2-11-58 Tel:025-278-7676			新潟日報サポート NIC 松浜

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支出伝票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	22
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費		
実施年月日	令和 8 年 2 月 1 日 ~ 令和 8 年 2 月 28 日		
支出年月日	令和 8 年 2 月 25 日		
支 出 金 額	22,700 円		
支 出 先	堀 富明		
使 途 内 容	公明新聞		
備 考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付

新聞購読料 領 収 証

皆川 英二 様

ご購読ありがとうございます。

下記金額を正に領収いたしました。

2026年2月分(2/01~2/28) 領収日 2月25日

領収金額 ¥2,270

品 名	定価(税別)	部 数	金 額
公明新聞※	2,270	1	2,270

その他購読料等 領 収 証

品 名	定価(税別)	部 数	金 額
公明新聞※	2,270	1	2,270

 消費税 0円
 消費税 2,270円
 消費税 168円

※は軽減税率対象品目です。

 販売店 堀 富明
 登録番号 12810632728007
 住 所 新潟市北区木崎2-8-31-29
 TEL 025-388-6214 FAX 025-388-6241


お申込み

※領収書及

備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	23
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費		
実施年月日	令和 8 年 2 月 1 日 ~ 令和 8 年 2 月 28 日		
支出年月日	令和 8 年 2 月 27 日		
支出金額	4,000 円		
支 出 先	(株)新潟日報サポート NIC 松燕		
使 途 内 容	新潟日報統合版		
備 考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

区域 御客機コード		領 収 証 (2026年 02月分)	
新元島町3953-10			
皆川 英二 様			
(領 収 日)	(領収番号)	(スタッフ)	
2026/02/27	000001		
銘 柄 名	部 数	金 額	合 計 金 額
新潟日報統合版	1	※ 4,000	4,000円
登録番号 T9110002005069 ※は軽減税率対象			8%対象 4,000円 (内消費税 296)
新潟市北区松浜東町2-11-58 Tel:025-278-7676			10%対象 円 (内消費税)
上記正に領収いたしました。			(株)新潟日報サポート NIC 松燕

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会		議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	24	
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費			
実施年月日	令和 8 年 3 月 1 日 ~ 令和 8 年 3 月 31 日			
支出年月日	令和 8 年 3 月 28 日			
支 出 金 額	2,270 円			
支 出 先	堀 富 明			
使 途 内 容	公明新聞			
備 考	第1紙 日本経済新聞			

領収書

新聞購読料 領 収 証

皆川 英二 様

ご購入ありがとうございます。

下記金額を正に領収いたしました。

2026 年 3 月分(3/01~3/31) 領収日 3 月 28 日

領 収 金 額 ￥2,270

品 名	定価(税込)	部 数	金 額

その他購読料等 領 収 証

品 名	定価(税込)	部 数	金 額
公明新聞※	2,270	1	2,270

 (10%対象) 0円 消費税 0円
 (8%対象) 2,270円 消費税 168円

※は軽減税率対象品目です。

 販売店 堀 富明
 登録番号 12810632728007
 住 所 新潟市北区大崎2-8-31-2.9
 TEL 025-388-6214 FAX 025-388-6241

お申込み



※領収

備考欄には按分率等を記入してください。

支 出 伝 票

会 派 名	翔政会	議 員 名	皆川 英二
支 出 年 度	令和7年度	整理番号 (項目別)	25
支 出 項 目	☐ 調査研究費 ☐ 広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 事務所費 ☐ 研修費 ☐ 要請・陳情活動費 ☒ 資料購入費 ☐ 広報費 ☐ 会議費 ☐ 人件費		
実施年月日	令和 8 年 2 月 1 日 ~ 令和 8 年 2 月 21 日		
支出年月日	令和 8 年 2 月 25 日		
支 出 金 額	4,000 円		
支 出 先	(株)新潟日報サポート NIC 松燕		
使 途 内 容	新潟日報 統合版		
備 考	第1紙 日本経済新聞		

領収書貼付欄

区域 御客機コード 領 収 証 (2026年 03月分)

新元島町3953-10

皆川 英二 様

(領 収 日) (領収番号) (スタッフ)

2026/03/27 000001

品 名	部 数	金 額
新潟日報統合版	1	※ 4,000

登録番号 T9110002005069 ※は軽減税率対象

合計金額 4,000 円

8%対象 4,000 円 (内消費税 296)

10%対象 円 (内消費税)

上記正に領収いたしました。

新潟日報サポート NIC 松燕

新潟市北区松浜東町2-11-58 Tel:025-278-7676

※領収書及び内容を証する書類を添付してください。

備考欄には按分率等を記入してください。

